

沖縄県におけるクラスター(関連含む)発生状況 (令和4年7-8月公表分)

資料 5

2022/8/28

総括情報部

施設等数	分類	発生場所	合計		718 施設等		9104 人	備考
			初発例 発生日	最終 発生日	陽性者数			
693	社会福祉施設	那覇市	5月26日	5月30日	16			スタッフ7名、利用者9名
694	社会福祉施設	那覇市	5月13日	5月22日	13			スタッフ6名、利用者7名
695	社会福祉施設	那覇市	5月3日	5月7日	6			スタッフ1名、利用者5名
696	社会福祉施設	那覇市	6月14日	6月24日	31			スタッフ6名、利用者25名
697	社会福祉施設	那覇市	6月18日	6月24日	10			スタッフ1名、利用者9名
698	病院	うるま市			26			職員8名、患者18名
699	病院	那覇市	5月11日	5月30日	45			職員17名、患者28名
700	病院	那覇市	5月14日	5月27日	20			職員2名、患者18名
701	病院	那覇市	6月2日	6月16日	11			職員4名、患者7名
702	職場	宮古島市	6月20日	7月4日	51			職員51名
703	病院	石垣市			9			職員2名、患者7名
704	病院	名護市			18			職員9名、患者9名
705	病院	名護市			29			職員10名、患者19名
706	病院	宮古島市			11			職員4名、患者7名
707	病院	宮古島市			6			職員3名、患者3名
708	病院	南部保健所管内			39			職員5名、患者34名
709	社会福祉施設	石垣市	7月18日	8月3日	96			スタッフ22名、利用者74名
710	病院	うるま市			23			職員9名、患者14名
711	病院	南部保健所管内			26			職員11名、患者15名
712	病院	石垣市			8			職員3名、患者5名
713	病院	南部保健所管内			6			職員2名、患者4名
714	病院	うるま市			7			職員2名、患者5名
715	病院	うるま市			9			職員9名
716	事業所	南部保健所管内			11			スタッフ10名、利用者1名
717	社会福祉施設	那覇市			33			スタッフ14名、利用者19名
718	その他	那覇市	8月7日	8月10日	9			
26 施設等					569			
					9104			

検査事業実績

1 エssenシャルワーカー定期PCR検査実績(R3/4/9~R4/8/19)【暫定値】

		8/13~8/19	対前週比	累計
介護	受検者数	8,617 人	+3,203 人	493,789 人
	陽性者数	92 人	-3 人	1,737 人
	陽性率	1.07%	-	0.35%
障害	受検者数	2,852 人	-288 人	169,775 人
	陽性者数	51 人	+20 人	695 人
	陽性率	1.79%	-	0.41%
保育	受検者数	3,918 人	+1,520 人	147,174 人
	陽性者数	55 人	+27 人	734 人
	陽性率	1.40%	-	0.50%

2 安価なPCR検査補助の実績(R3.2/17~R4.3/31)【暫定値】

※一般無料検査に統合

3 飲食店検査の実績

※一般無料検査に統合

4 ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等/一般無料検査の実績(12/25~8/19)【暫定値】

ワクチン検査パッケージ 対象者全員検査等	8/13-8/19	対前週比	累計
受検者数	614 件	94 件	73,178 件
陽性者数	5 件	-1 件	2,812 件
陽性率	0.81%	-	3.84%

一般無料検査	8/13-8/19	対前週比	累計
受検者数	39,184 件	-690 件	884,914 件
陽性者数	6,527 件	67 件	92,144 件
陽性率	16.66%	-	10.41%

5 学校PCR検査の実績(R4.8/13~R4.8/19)

	8/13~8/19	対前週比	累計
学校数	123 校	-86 校	6,246 校
小学校	0 校	+0 校	1,304 校
中学校	0 校	+0 校	720 校
高等学校	0 校	+0 校	389 校
特別支援学校	0 校	+0 校	66 校
学童クラブ	15 校	-19 校	756 校
保育所・幼稚園	108 校	-67 校	3,011 校
受検者数	1,118 人	-1,007 人	138,304 人
陽性者数	30 人	-60 人	2,755 人
陽性率	2.68%	-1.55%	1.99%

ワクチン接種状況

1 現在の状況

- ・ 8月25日時点接種実績
- | | | | |
|-------|------------|---------|----|
| 1回目 | 1,066,310人 | (71.8%) | ※1 |
| 2回目 | 1,054,853人 | (71.0%) | ※1 |
| 3回目 | 711,719人 | (47.9%) | ※1 |
| 高齢者 | 284,422人 | (85.7%) | |
| 4回目 | 181,907人 | (-%) | ※2 |
| 60歳以上 | 171,024人 | (40.4%) | |

※1 基地従業員の接種人数を含む

※2 基礎疾患を有する者等の総数不明

2 4回目接種（追加接種）市町村の状況

- ・ 各自治体で集団接種・個別接種を順次開始

3 離島町村（13町村）の4回目実施状況

(1) 高齢者施設等（巡回接種）：全町村実施済

(2) 住民接種

実施済：①伊江村、②伊是名村、③伊平屋村、④座間味村
⑤渡嘉敷村(VRS登録中)、⑥北大東村、⑦南大東村
⑧与那国町、⑨渡名喜村(VRS登録中)、
⑩久米島町(VRS登録中)、⑪多良間村(VRS登録中)

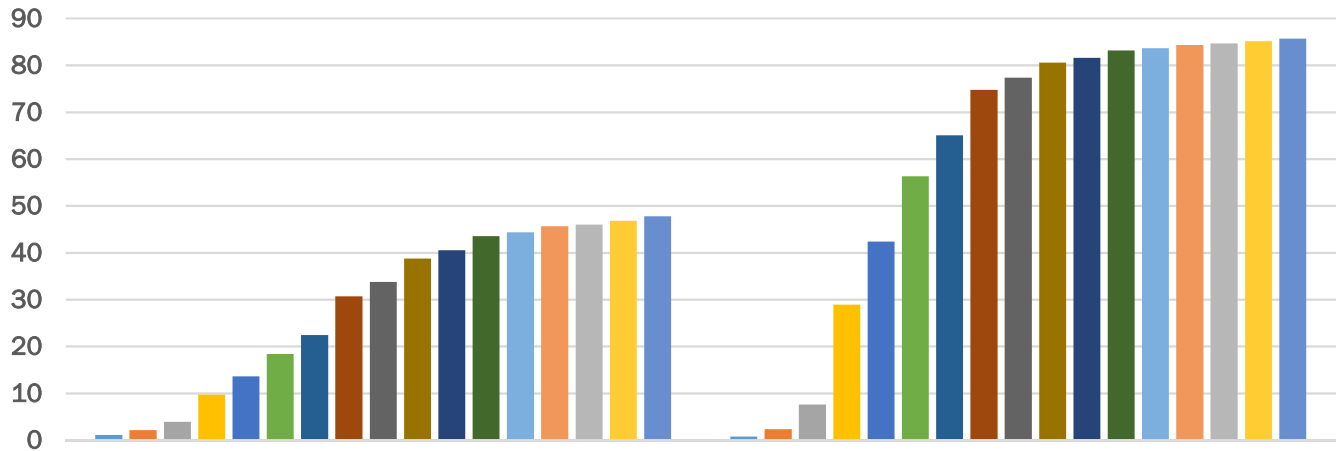
未実施：①粟国村(8/31,9/1)、
②竹富町(竹富島(済)、鳩間島(済)、黒島(済)、
小浜島(済)、波照間島(9/17)、西表島(9/2~12))

※括弧書きは、住民接種の予定日

4 職域接種（3回目接種）

- ・ 県内で16団体から申請
- ・ 現時点11団体で開始済み（3月1日～）

新型コロナウイルスワクチン 3回目接種率(R4.8.25時点)VRS数値



全世代 3回目接種率 (%)

高齢者 3回目接種率 (%)

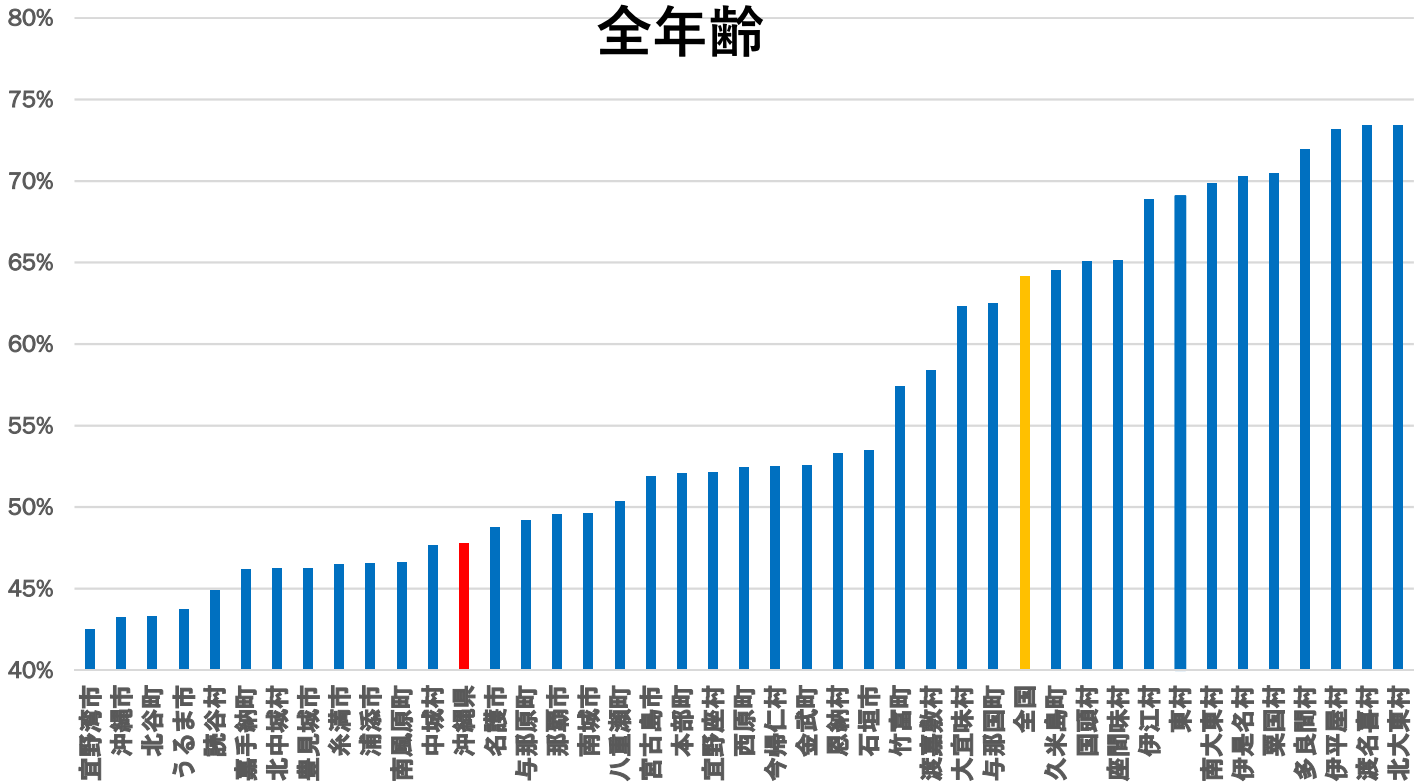
■1月10日 ■1月20日 ■1月30日 ■2月13日 ■2月20日 ■3月1日 ■3月10日 ■3月30日 ■4月10日
■4月20日 ■5月10日 ■5月30日 ■6月9日 ■6月30日 ■7月10日 ■7月31日 ■8月25日

市区町村	1回目	2回目	3回目	順位
北大東村	85.20%	84.49%	73.44%	1
渡名喜村	86.55%	85.38%	73.39%	2
伊平屋村	84.25%	83.75%	73.17%	3
多良間村	90.56%	89.28%	71.95%	4
粟国村	82.02%	81.73%	70.47%	5
伊是名村	81.62%	80.71%	70.27%	6
南大東村	85.05%	84.48%	69.85%	7
東村	86.55%	85.73%	69.07%	8
伊江村	81.55%	80.67%	68.89%	9
座間味村	76.25%	75.92%	65.11%	10
国頭村	80.05%	79.46%	65.07%	11
久米島町	83.12%	81.78%	64.52%	12
与那国町	77.26%	76.37%	62.50%	13
大宜味村	78.99%	78.01%	62.31%	14
渡嘉敷村	72.84%	72.28%	58.36%	15
竹富町	73.58%	72.81%	57.41%	16
石垣市	73.41%	73.05%	53.52%	17
恩納村	72.82%	72.12%	53.29%	18
金武町	69.78%	69.19%	52.59%	19
今帰仁村	75.60%	74.57%	52.52%	20
西原町	76.16%	75.16%	52.41%	21
宜野座村	69.10%	68.34%	52.13%	22
本部町	74.84%	74.52%	52.08%	23
宮古島市	73.31%	72.52%	51.87%	24
八重瀬町	72.78%	72.13%	50.37%	25
南城市	72.55%	71.93%	49.60%	26
那覇市	73.58%	72.87%	49.55%	27
与那原町	70.78%	69.98%	49.17%	28
名護市	73.57%	72.72%	48.78%	29
沖縄県	71.52%	70.75%	47.79%	-
中城村	71.87%	71.21%	47.64%	30
南風原町	71.29%	70.46%	46.61%	31
浦添市	72.14%	71.50%	46.57%	32
糸満市	70.00%	69.10%	46.50%	33
豊見城市	70.84%	69.98%	46.27%	34
北中城村	69.40%	68.57%	46.27%	35
嘉手納町	69.72%	69.16%	46.17%	36
読谷村	69.48%	68.67%	44.90%	37
うるま市	68.99%	68.31%	43.72%	38
北谷町	66.15%	65.44%	43.28%	39
沖縄市	67.96%	66.92%	43.24%	40
宜野湾市	67.34%	66.43%	42.51%	41

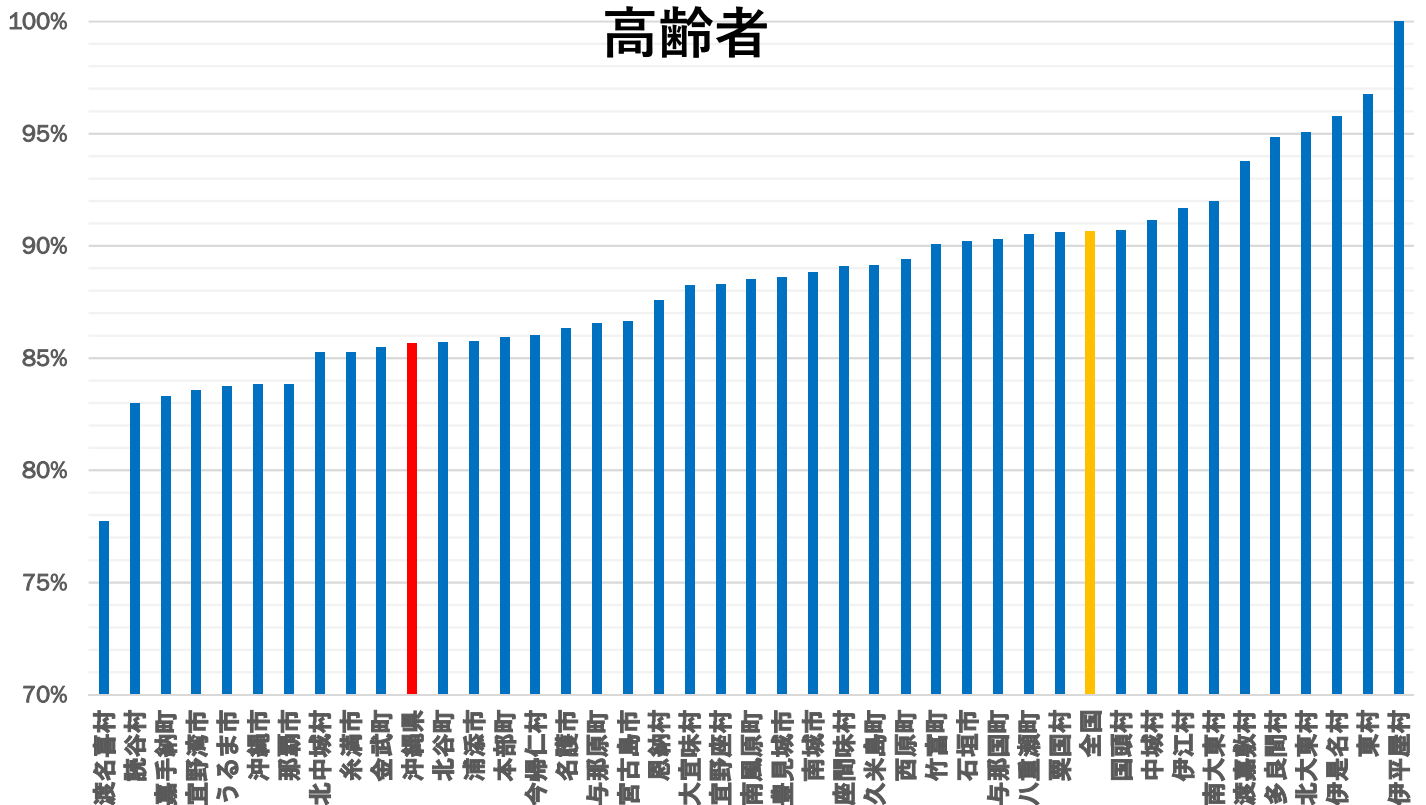
市区町村	1回目	2回目	3回目	順位
伊平屋村	104.79%	104.79%	102.25%	1
東村	105.02%	104.54%	96.76%	2
伊是名村	99.53%	99.53%	95.78%	3
北大東村	104.13%	103.31%	95.04%	4
多良間村	100.86%	100.00%	94.84%	5
渡嘉敷村	105.59%	105.59%	93.79%	6
南大東村	96.81%	96.49%	92.01%	7
伊江村	96.27%	95.69%	91.70%	8
中城村	99.81%	98.99%	91.12%	9
国頭村	96.26%	95.71%	90.69%	10
粟国村	95.70%	95.31%	90.63%	11
八重瀬町	97.40%	97.07%	90.49%	12
与那国町	98.92%	98.65%	90.30%	13
石垣市	97.14%	97.92%	90.23%	14
竹富町	97.16%	96.65%	90.06%	15
西原町	97.49%	97.13%	89.40%	16
久米島町	96.15%	95.50%	89.13%	17
座間味村	97.73%	99.09%	89.09%	18
南城市	95.66%	95.24%	88.82%	19
豊見城市	97.49%	97.04%	88.62%	20
南風原町	96.65%	96.36%	88.51%	21
宜野座村	94.22%	93.81%	88.30%	22
大宜味村	93.31%	92.97%	88.22%	23
恩納村	93.75%	93.45%	87.57%	24
宮古島市	94.81%	94.30%	86.66%	25
与那原町	94.18%	93.60%	86.52%	26
名護市	94.83%	94.28%	86.34%	27
今帰仁村	94.80%	94.28%	86.03%	28
本部町	93.34%	93.11%	85.95%	29
浦添市	94.33%	93.92%	85.74%	30
北谷町	93.86%	93.33%	85.69%	31
沖縄県	93.98%	93.61%	85.68%	-
金武町	91.69%	91.43%	85.48%	32
糸満市	94.33%	93.92%	85.28%	33
北中城村	92.80%	92.32%	85.27%	34
那覇市	92.20%	91.85%	83.84%	35
沖縄市	93.02%	92.49%	83.81%	36
うるま市	93.35%	92.96%	83.73%	37
宜野湾市	90.76%	90.33%	83.57%	38
嘉手納町	93.26%	93.01%	83.30%	39
読谷村	93.21%	92.80%	82.99%	40
渡名喜村	86.62%	84.08%	77.71%	41

3回目接種率：41市町村（2022/08/25）

全年齡

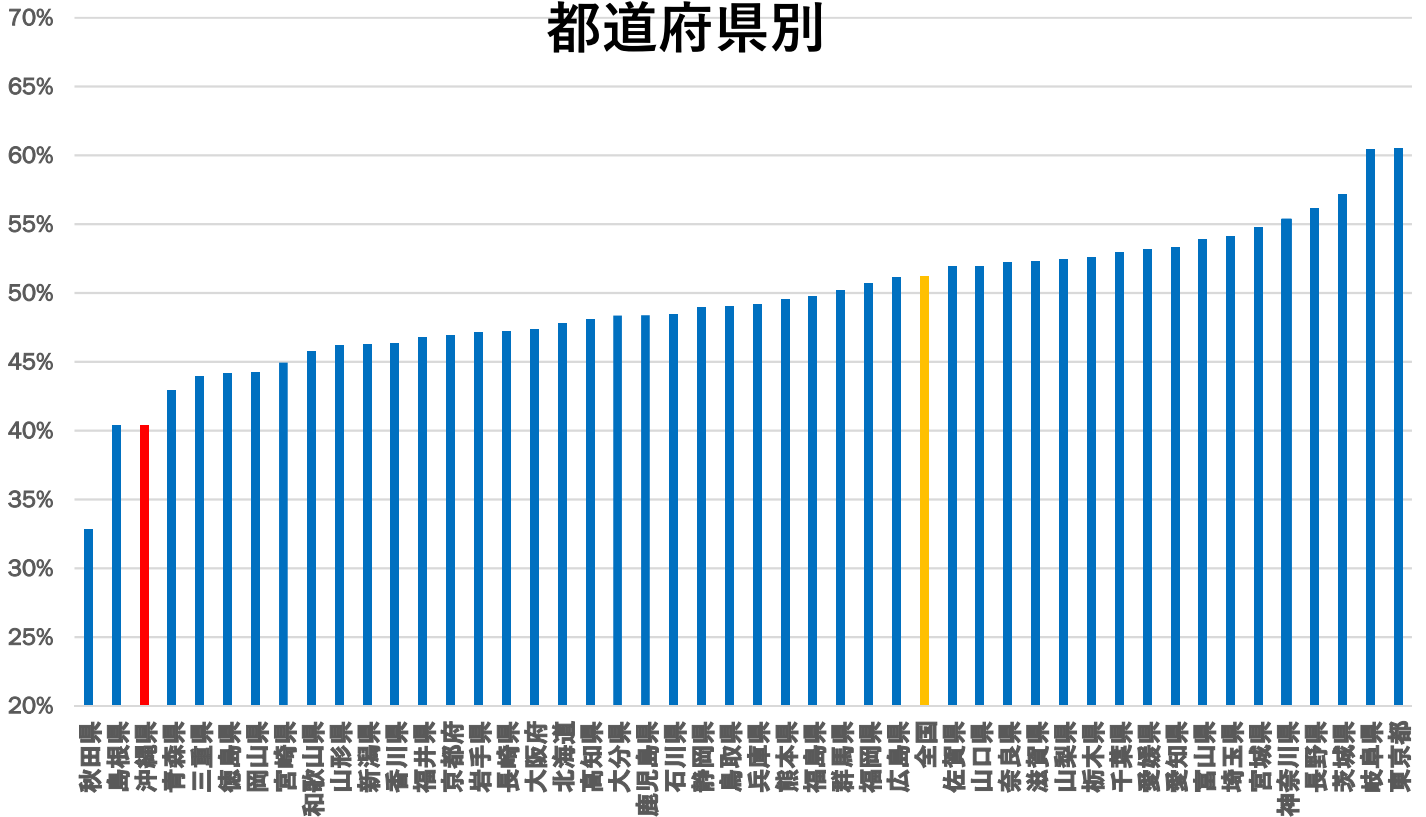


高齢者

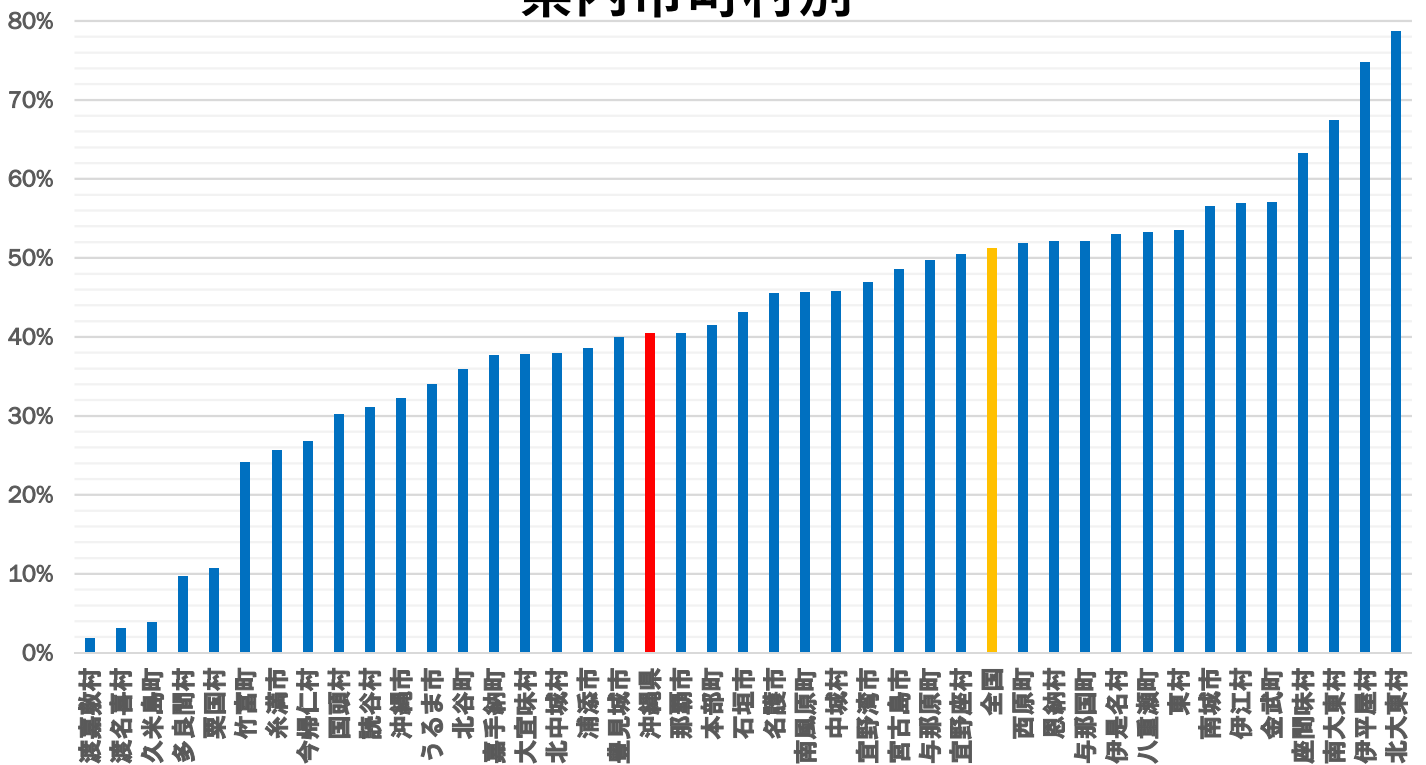


4回目接種率：60歳以上（2022/08/25）

都道府県別



県内市町村別



沖縄県年代別接種率 (2022.8.25)

	1回目接種率	2回目接種率	3回目接種率	※4回目接種率
12～19歳	65.9%	64.7%	22.5%	-
20～29歳	70.0%	68.7%	30.1%	-
30～39歳	71.6%	70.7%	36.2%	-
40～49歳	78.1%	77.4%	47.2%	-
50～59歳	85.6%	85.1%	62.3%	-
60～69歳	86.9%	86.5%	74.5%	28.0%
70～79歳	98.1%	97.8%	90.6%	52.9%
80～89歳	94.9%	94.4%	87.0%	48.4%
90～99歳	96.9%	96.4%	88.4%	42.9%
100歳以上	93.7%	92.5%	84.0%	35.2%

VRS（医療従事者含む）データより

※12～17歳の3回目接種は令和4年3月25日から実施

※4回目接種対象者は、60歳以上と18～59歳の基礎疾患がある者等となっており、基礎疾患がある者等の人数は把握できないことなどから60歳以上の接種率を公表

追加接種（3・4回目接種）年代別対象者数及び接種実績

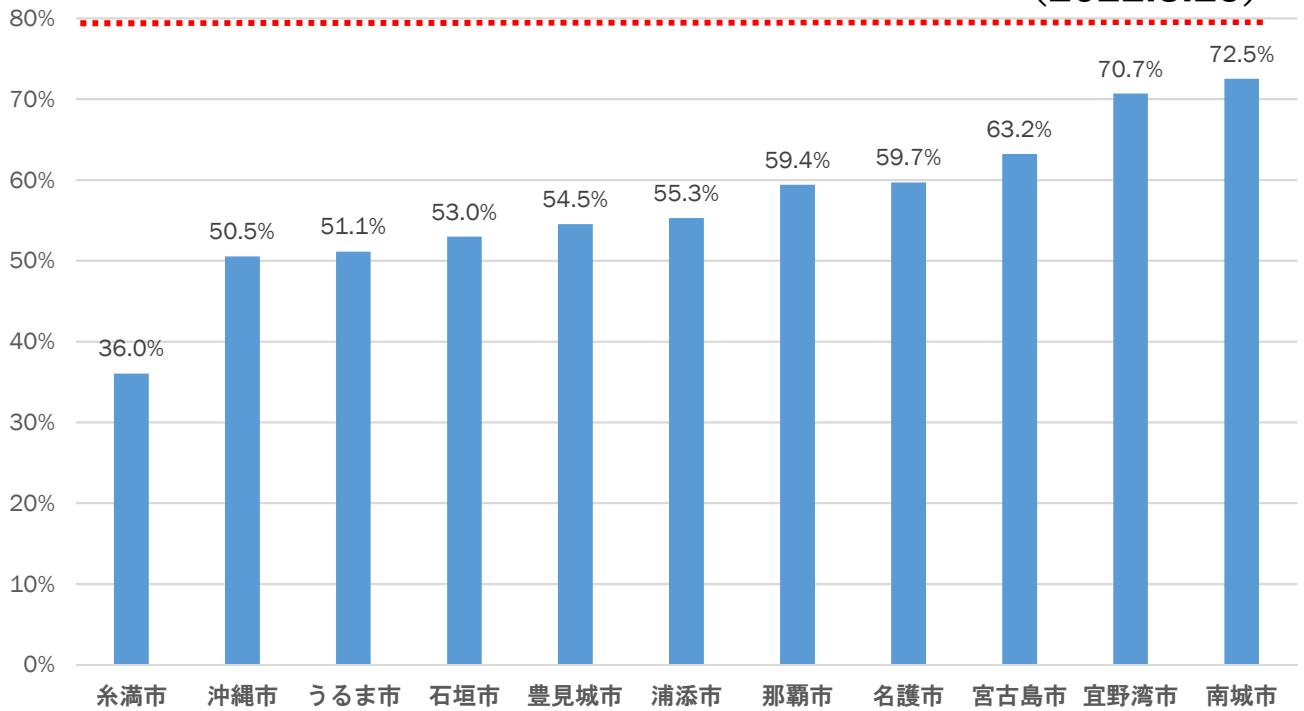
令和4年8月25日時点
 (単位：対象者数(人)、回数(回))

		追加接種時期											
		4月	(累計)	5月	(累計)	6月	(累計)	7月	(累計)	8月	(累計)		
3 回 目	12歳 ～19歳	対象者数	36,087	(66,846)	9,928	(76,774)	3,880	(80,654)	1,499	(82,153)	848	(83,001)	
	接種実績	6,722	(9,570)	10,140	(19,710)	3,877	(23,587)	3,176	(26,763)	2,918	(29,681)		
	接種率	18.63%	(14.32%)	102.14%	(25.67%)	99.92%	(29.24%)	211.87%	(32.58%)	344.10%	(35.76%)		
	20歳 ～29歳	対象者数	32,398	(93,203)	8,156	(101,359)	2,947	(104,306)	937	(105,243)	571	(105,814)	
	接種実績	11,481	(32,575)	7,123	(39,698)	3,619	(43,317)	1,956	(45,273)	1,581	(46,854)		
	接種率	35.44%	(34.95%)	87.33%	(39.17%)	122.80%	(41.53%)	208.75%	(43.02%)	276.88%	(44.28%)		
	30歳 ～39歳	対象者数	36,428	(117,357)	7,339	(124,696)	2,431	(127,127)	747	(127,874)	356	(128,230)	
	接種実績	16,992	(48,834)	8,690	(57,524)	4,385	(61,909)	2,571	(64,480)	1,656	(66,136)		
	接種率	46.65%	(41.61%)	118.41%	(46.13%)	180.38%	(48.70%)	344.18%	(50.42%)	465.17%	(51.58%)		
	40歳 ～49歳	対象者数	34,380	(152,624)	6,060	(158,684)	1,926	(160,610)	600	(161,210)	266	(161,476)	
	接種実績	25,412	(76,865)	11,594	(88,459)	5,008	(93,467)	3,246	(96,713)	2,127	(98,840)		
	接種率	73.92%	(50.36%)	191.32%	(55.75%)	260.02%	(58.20%)	541.00%	(59.99%)	799.62%	(61.21%)		
50歳 ～59歳	対象者数	23,213	(149,808)	4,261	(154,069)	1,472	(155,541)	388	(155,929)	192	(156,121)		
接種実績	27,420	(95,023)	10,928	(105,951)	4,201	(110,152)	2,665	(112,817)	1,709	(114,526)			
接種率	118.12%	(63.43%)	256.47%	(68.77%)	285.39%	(70.82%)	686.86%	(72.35%)	890.10%	(73.36%)			
60歳 以上	対象者数	13,817	(382,373)	3,861	(386,234)	1,580	(387,814)	576	(388,390)	434	(388,824)		
接種実績	29,862	(330,869)	10,216	(341,085)	4,057	(345,142)	2,673	(347,815)	1,929	(349,744)			
接種率	216.13%	(86.53%)	264.59%	(88.31%)	256.77%	(89.00%)	464.06%	(89.55%)	444.47%	(89.95%)			
計	対象者数	176,323	(962,211)	39,605	(1,001,816)	14,236	(1,016,052)	4,747	(1,020,799)	2,667	(1,023,466)		
	接種実績	117,889	(593,736)	58,691	(652,427)	25,147	(677,574)	16,287	(693,861)	11,920	(705,781)		
	接種率	66.86%	(61.71%)	148.19%	(65.12%)	176.64%	(66.69%)	343.10%	(67.97%)	446.94%	(68.96%)		
4 回 目	60歳 以上	対象者数	-	-	3,461	(3,461)	34,503	(37,964)	170,003	(207,967)	93,040	(301,007)	
	接種実績	-	-	14	(14)	6,585	(6,599)	97,289	(103,888)	67,136	(171,024)		
	接種率	-	-	0.40%	(0.40%)	19.09%	(17.38%)	57.23%	(49.95%)	72.16%	(56.82%)		
		総計											
													※5 (661,098)
													※5 (359,975)
													(54.45%)
													(389,555)
													(349,744)
													(89.78%)
													(1,050,653)
													(709,719)
													(67.55%)

- ※1 令和4年5月迄の3回目接種対象者数は、2回目接種日から6箇月経過した者の数の合計。
- ※2 令和4年6月以降の3回目接種対象者数は、2回目接種から5箇月経過した者の合計。但し6月のみ、令和3年12月に2回目接種した者を含む。
- ※3 4回目接種対象者数は、3回目接種から5箇月経過した60歳以上の人数。
- ※4 VRS上において年齢不詳となっている者の数は含んでいない。(4回目接種実績数を除く。)
- ※5 59歳以下の総計を表示
 対象者数は、2回目接種者数から60歳以上の接種者数を差し引いたもの、接種実績は、3回目接種者数から60歳以上の接種者数を差し引いたもの。

4回目接種(60歳以上)：11市 8月末までの接種対象者の接種実績

(2022.8.25)



接種費用
無料

ノババックスワクチン接種 in イーアス沖縄豊崎!!

接種日時

8月27日(土)14:00～17:00(最終受付時間 16:30)

9月17日(土)14:00～17:00(最終受付時間 16:30)

※8/27は1～3回目接種、9/17は2、3回目接種を実施します。

接種会場

イーアス沖縄豊崎 3階 イーアスホール (豊見城市豊崎3番35)

対象者

[1、2回目接種の方]

12歳以上の方で、接種券をお持ちの方

※同じワクチンを2回接種します。

※12～15歳の方のワクチン接種には、保護者の同意・同伴が必要です。

[3回目接種の方]

2回目接種から6ヶ月経過した18歳以上の方で、接種券をお持ちの方

※初回(1、2回目)接種のワクチンの種類に関わらず接種いただけます。

※現時点では4回目接種にノババックスワクチンを使用することはできません。



買い物
ついでに
便利!

使用するワクチン

武田社ワクチン(ノババックス)

必要書類

- ①お住まいの市町村から送付された接種券・予診票
- ②本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード等)
- ③2、3回目接種の方は、初回(1、2回目)接種の記録書

●接種券をお持ちの方は、**[事前予約なし、当日受付]**で接種を受けられます。

※当日受付の方については整理券を配布しますので、必要書類①②③をご持参の上、会場へお越しください。

※定員に達し次第、整理券の配布を終了します。

●会場の都合上、1日あたり180名程度を上限といたします。

●予約受付も開始しております。スムーズに接種したい方は、事前予約をお勧めします。

ご予約 & お問い合わせ

*イーアス沖縄豊崎への直接のお問合せはお控えください!

ご予約は、インターネットまたは電話にて承ります。接種券をお手元にご準備ください。

WEB予約URL

<https://okinawa-covid.jp>



電話予約コールセンター：098-943-2993

受付時間：月～土(日・祝日を除く)10時～17時

電話番号のおかけ間違いにご注意ください!

主催：沖縄県[臨時沖縄県広域ワクチン接種センター]

【9/2限定】琉球大学 全保連ステーション（大学会館3F）に
新型コロナワクチン接種会場を設置します！！

1 接種日時：

- (1) 令和4年9月2日（金）17：00～19：30（最終受付時間：19:00）
使用するワクチン：**ノババックスワクチン**

2 接種会場： 琉球大学 全保連ステーション(大学会館) 3F

※会場の都合上、150名/日程度を上限といたしますので、ご了承ください

3 接種対象者： 琉球大学の学生、教員等及び琉球大学周辺にお住まいの方等で以下に該当する方 ※宜野湾市、中城村、西原町以外の方も接種可能です。

- (1) 1・2回目接種の方：12歳以上の方
(2) 3回目接種の方：2回目接種から6か月経過した18歳以上の方
※3回目接種については過去に接種したワクチンの種類にかかわらず接種いただけます。
※新型コロナに感染した方も、前回接種から6か月経過しており、かつ隔離期間が終了していれば、ワクチンを接種することが可能です。
※12歳～15歳の方のワクチン接種には、保護者の同伴が必要です。

4 必要書類

- (1) お住まいの市町村から送付された接種券・予診票
※接種券発行後の引っ越し等で、現在の居住地と接種券に印字された住所が異なる場合は現在お住まいの市役所等において、接種券の再発行が必要です。
(2) 本人確認書類（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード等）
(3) 新型コロナワクチン接種の記録書

5 当日受付について

- (1) 接種券をお持ちの方は、【事前予約なし、当日受付】でも接種可能です
(2) 予約受付も行いますので、スムーズに接種したい方は事前予約をお勧めします

6 駐車場について

琉球大学の南口、北口、東口に駐車場の案内版を設置する予定ですので、案内版にそってご来場ください。

●ご予約・お問い合わせ

- (1) WEB予約 URL：<https://okinawa-covid.jp>
(2) 電話予約コールセンター 098-943-2993
受付時間 月～土（日・祝日除く）10時～17時
※予約の際は接種券をお手元にご準備ください。





ワクチン接種を推進します。

うるマルシェで モデルナワクチン 接種できます!!

お出かけ
ついでに
便利!

接種費用無料

接種日時

9月4日(日) 12:00 ~ 15:00(最終受付時間 14:30)

接種会場

うるマルシェ内 2F 会議室 (うるま市字前原183-2)

対象者

[3回目接種の方]

2回目接種から5ヶ月経過した18歳以上の方で、接種券をお持ちの方

[4回目接種の方]

3回目接種から5ヶ月経過した①又は②に該当する方で、接種券をお持ちの方

① 60歳以上の方

② 18歳以上60歳未満の方で、基礎疾患を有する方や医療従事者等の方

※3、4回目接種は、過去に接種したワクチンの種類にかかわらず接種いただけます。



使用するワクチン モデルナ社ワクチン

必要書類

- ①お住まいの市町村から送付された接種券・予診票
- ②本人確認書類 (運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード等)
- ③コロナワクチン接種の記録書 (1~3回目接種の記録書)

●接種券をお持ちの方は、**[事前予約なし、当日受付]**で接種を受けられます。

※当日受付の方については整理券を配布しますので、必要書類①②③をご持参の上、会場へお越しください。
※定員に達し次第、整理券の配布を終了します。

●会場の都合上、1日あたり180名程度を上限といたします。

●予約受付も開始しております。スムーズに接種したい方は、事前予約をお勧めします。

ご予約 & お問い合わせ

***うるマルシェへの直接のお問合せはお控えください!**

ご予約は、インターネットまたは電話にて承ります。接種券をお手元にご準備ください。

WEB予約URL

<https://okinawa-covid.jp>



電話予約コールセンター：098-943-2993

受付時間：月~土(日・祝日を除く)10時~17時

電話番号のおかけ間違いにご注意ください!

主催：沖縄県[臨時沖縄県広域ワクチン接種センター]

**【9/9 限り】沖縄国際大学（講堂兼体育館）に
新型コロナワクチン接種会場を設置します！！**

- 1 **接種日時**：令和4年9月9日（金）17：00～19：30（最終受付19：00）
- 2 **接種会場**：沖縄国際大学 講堂兼体育館（宜野湾市宜野湾2-6-1）
※会場の都合上、150名/日程度を上限といたしますので、ご了承ください
- 3 **接種対象者**：沖縄国際大学の学生、教員等及び沖縄国際大学周辺にお住まいの方等で以下に該当する方（宜野湾市以外の方も接種可能）
 - 【3回目接種】 2回目接種から5か月経過した18歳以上で、接種券をお持ちの方
 - 【4回目接種】 3回目接種から5か月経過した①又は②に該当する接種券をお持ちの方
 - ① 60歳以上の方
 - ② 18歳以上60歳未満で次のいずれかに該当する方
 - ・基礎疾患を有する方
 - ・新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める方
 - ・医療従事者等及び高齢者施設等の従事者

※過去に接種したワクチンの種類にかかわらず接種いただけます。
※新型コロナに感染した方も、前回接種から5か月経過しており、かつ隔離期間が終了していれば、ワクチンを接種することが可能です。
- 4 **使用するワクチン**：モデルナ社ワクチン
- 5 **必要書類**：
 - (1) 市町村から送付された接種券・予診票
 - (2) 本人確認書類（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード等）
 - (3) 新型コロナワクチン接種の記録書
- 6 **当日受付について**
 - (1) 接種券をお持ちの方は、【事前予約なし、当日受付】でも接種可能です
 - (2) 予約受付も行いますので、スムーズに接種したい方は、事前予約をお勧めします（8月18日（木）午前10時より予約受付開始）

●**ご予約・お問い合わせ**

- (1) WEB予約 URL：<https://okinawa-covid.jp>
- (2) 電話予約コールセンター 098-943-2993
受付時間 月～土（日・祝日除く）10時～17時
※接種券をお手元にご準備ください。



県広域ワクチン接種センター予約状況

8/1~8/31

8/26時点

	予約枠	予約率	1回目	2回目	3回目	4回目	合計
結婚式場NBC沖縄	1,440	52%	0	4	408	342	754
那覇クルーズターミナル	2,881	47%	77	111	826	354	1,368
臨時会場 (大学・商業施設等)	1,330	37%	32	22	366	78	498
計	5,651	46%	109	137	1,600	774	2620

○中部：結婚式場NBC沖縄

・接種日：金、土 接種規模：180名

○南部：那覇クルーズターミナル

・接種日：金 接種規模：315名 ※武田社ワクチン(ノババックス)接種

・接種日：土、日 接種規模：225名(土)、180名(日)

○臨時会場：大学・商業施設等

・接種日：8/3-4 名桜大学 接種規模：各日150名 ※8/3武田社ワクチン(ノババックス)接種

・接種日：8/5 沖縄国際大学 接種規模：150名

・接種日：8/13 イオン名護ショッピングセンター 接種規模：100名 ※武田社ワクチン(ノババックス)接種

・接種日：8/15 沖縄大学 接種規模：150名

・接種日：8/25-26 沖縄県庁 接種規模：各日225名 ※8/25武田社ワクチン(ノババックス)接種

・接種日：8/27 イーアス沖縄豊崎 接種規模：180名 ※武田社ワクチン(ノババックス)接種

沖縄県広域ワクチン接種センターの接種実績等について

R4/8/29 保健医療部

1 接種実績 (R3/6/15~R4/8/25)

(1) 県広域ワクチン接種センター (R3/6/15~R3/11/30)

沖縄コンベンションセンター, 県立武道館アリーナ, 那覇クルーズターミナル

ア 接種回数	180,379 回
イ 1回目接種者	91,632 名
ウ 2回目接種者	88,747 名

(2) 県モデルナセンター (R3/12/3~R4/2/6)

県立武道館(錬成道場)

ア 接種回数	2,061 回
イ 1回目接種者	692 名
ウ 2回目接種者	973 名
エ 3回目接種者	396 名

(3) 県広域ワクチン接種センター (R4/2/5~R4/8/25)

那覇クルーズターミナル, 結婚式場NBC沖縄, 北部合同庁舎,
臨時会場(商業施設, 県庁・大学等)

(先週からの増加数)

ア 接種回数	35,915 回	(602 回)
イ 1回目接種者	869 名	(21 名)
ウ 2回目接種者	971 名	(35 名)
エ 3回目接種者	32,642 名	(327 名)
オ 4回目接種者	1,433 名	(219 名)

【 合計 】

(先週からの増加数)

ア 接種回数	218,355 回	(602 回)
イ 1回目接種者	93,193 名	(21 名)
ウ 2回目接種者	90,691 名	(35 名)
エ 3回目接種者	33,038 名	(327 名)
オ 4回目接種者	1,433 名	(219 名)

2 出向き接種の状況

(1) 商業施設等

① 4/30 (土) サンエー那覇メインプレイス (那覇市) 臨時会場

14:00~18:00

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	499 回	(216 回)
1回目接種者	18 名	(7 名)
2回目接種者	4 名	(0 名)
3回目接種者	477 名	(209 名)

事前予約
(298 回)
(19 名)
(4 名)
(275 名)

※4/30±12:00×切

② 5/14 (土) イオンモール沖縄ライカム (北中城村) 臨時会場

15:00~20:00

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
3回目接種者	285 名	(112 名)

事前予約
(179 名)

※5/14±12:00×切

③ 6/4 (土)、6/5 (日) イーアス沖縄豊崎 (豊見城市) 臨時会場

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
3回目接種者	347 名	(106 名)
6/4 14:00~19:00	220 名	(66 名)
6/5 11:00~16:00	127 名	(40 名)

事前予約
(248 名)
(158 名)
(90 名)

※当日12:00×切

④ 6/18 (土) 読谷村地域振興センター (読谷村) 臨時会場

14:00~19:00

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
3回目接種者	27 名	(11 名)

事前予約
(17 名)

※6/18±12:00×切

⑤ 7/23 (土)、8/13 (土) イオン名護ショッピングセンター (名護市) 臨時会場

○ 7/23 14:00~17:00

(ノババックス)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	88 回	(17 回)
1回目接種者	21 名	(3 名)
2回目接種者	0 名	(0 名)
3回目接種者	67 名	(14 名)

事前予約
(74 回)
(19 名)
(0 名)
(55 名)

※7/23±12:00×切

○ 8/13 14:00~17:00

(ノババックス)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	68 回	(12 回)
1回目接種者	1 名	(1 名)
2回目接種者	20 名	(0 名)
3回目接種者	47 名	(11 名)

事前予約
(56 回)
(0 名)
(20 名)
(36 名)

※8/13±12:00×切

⑥ 8/27 (土)、9/17 (日) イーアス沖縄豊崎 (豊見城市) 臨時会場

- 接種時間： 両日 14:00~17:00 (最終受付時間16:30)
- 接種会場： 3F イーアスホール
- 使用ワクチン： ノババックス
- 対象者： 8/27 1、2、3回目接種の方
9/17 2、3回目接種の方

⑦ 9/4 (日) うるマルシェ (うるま市) 臨時会場

- 接種時間： 12:00~15:00 (最終受付時間14:30)
- 接種会場： 2F 会議室
- 使用ワクチン： モデルナ
- 対象者： 3、4回目接種の方

⑧ 9/10 (土) イオンモール沖縄ライカム (北中城村) 臨時会場

- 接種時間： 14:00~17:00 (最終受付時間16:30)
- 接種会場： 3F イオンホール
- 使用ワクチン： モデルナ
- 対象者： 3、4回目接種の方

⑨ 9/17 (土) 沖縄市農民研修センター (沖縄市) 臨時会場

- 接種時間： 14:00~16:00 (最終受付時間15:30)
- 接種会場： 2F 大研修室 (大ホール)
- 使用ワクチン： モデルナ
- 対象者： 3、4回目接種の方

⑩ 以降、調整中

(2) 県庁・大学等

① 7/28 (木)、7/29 (金) 沖縄県庁 (那覇市) 臨時会場

○ 7/28 14:00~16:30

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	200 回	(59 回)
3回目接種者	151 名	(45 名)
4回目接種者	49 名	(14 名)

事前予約
(145 回)
(109 名)
(36 名)

※7/28木12:00〆切

○ 7/29 14:00~16:30

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	267 回	(105 回)
3回目接種者	194 名	(71 名)
4回目接種者	73 名	(34 名)

事前予約
(172 回)
(132 名)
(40 名)

※7/29金12:00〆切

② 8/3 (水)、8/4 (木) 名城大学 (名護市) 臨時会場

○ 8/3 17:00~19:30

(ノババックス)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	40 回	(10 回)
1回目接種者	8 名	(0 名)
2回目接種者	0 名	(0 名)
3回目接種者	32 名	(10 名)

事前予約
(29 回)
(9 名)
(0 名)
(20 名)

※8/3水12:00〆切

○ 8/4 17:00~19:30

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	59 回	(37 回)
3回目接種者	38 名	(26 名)
4回目接種者	21 名	(11 名)

事前予約
(23 回)
(13 名)
(10 名)

※8/4木12:00〆切

③ 8/5 (金) 沖縄国際大学 (宜野湾市) 臨時会場

17:00~19:30

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	149 回	(39 回)
3回目接種者	128 名	(35 名)
4回目接種者	21 名	(4 名)

事前予約
(110 回)
(93 名)
(17 名)

※8/5金12:00〆切

④ 8/15 (月) 沖縄大学 (那覇市) 臨時会場

17:00~19:30

(モデルナ)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	76 回	(16 回)
3回目接種者	60 名	(14 名)
4回目接種者	16 名	(2 名)

事前予約
(60 回)
(46 名)
(14 名)

※8/15月12:00〆切

⑤ 8/25 (木)、8/26 (金) 沖縄県庁 (那覇市) 臨時会場

○ 8/25 17:30~20:00

(ノババックス)	実績	(うち、当日受付)
接種回数	89 回	(25 回)
1 回目接種者	9 名	(1 名)
2 回目接種者	2 名	(0 名)
3 回目接種者	78 名	(24 名)

事前予約
(64 回)
(11 名)
(2 名)
(51 名)

※8/25木12:00×切

○ 8/26 17:30~20:00

- 接種時間： 17:30~20:00 (最終受付時間19:30)
- 接種会場： 1 F 県民ホール
- 使用ワクチン： モデルナ
- 対象者： 3、4回目接種の方

⑥ 9/2 (金) 琉球大学 (西原町) 臨時会場

- 接種時間： 17:00~19:30 (最終受付時間19:00)
- 接種会場： 全保連ステーション (大学会館) 3 F
- 使用ワクチン： ノババックス
- 対象者： 1、2、3回目接種の方

⑦ 9/9 (金) 沖縄国際大学 (宜野湾市) 臨時会場

- 接種時間： 17:00~19:30 (最終受付時間19:00)
- 接種会場： 講堂兼体育館
- 使用ワクチン： モデルナ
- 対象者： 3、4回目接種の方

⑧ 以降、調整中

3 企業・団体枠（大学等含む）の接種状況

(1) 県広域ワクチン接種センター

<実績>

- 11企業(303名)、7大学等(237名)、3専門学校(147名)
(合計687名へ接種)

(内訳)

(令和4年3月末まで)

- 10企業(293名)、1大学等(21名) (合計314名へ接種)

(令和4年4月以降)

- 1企業(10名)、6大学等(216名)、3専門学校(147名)
(合計373名へ接種) **先週から増減なし**

<調整中>

- なし

(2) 市町村接種会場

<実績>

- 1企業 (13名、那覇市)
- 1高等専門学校 (36名、名護市)
- 1大学 (20名、宜野湾市)
- 1大学 (113名、名護市)

<調整中>

- なし

空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況

1 空港PCR検査プロジェクトの実績数

令和4年8月15日(月)～令和4年8月21日(日)

	今回(8/15～8/21)		対前週比		累計	
PCR検査受検者	4,169	人	-576	人	169,628	人
うち県内在住者(県内)	3,820	人	-436	人	145,190	人
うち県外在住者(県外)	349	人	-140	人	24,438	人
うち陽性者	240	人	-38	人	3,504	人
陽性率	5.8	%	-0.1	ポイント	-	
【空港別PCR検査結果内訳】						
	受検者			陽性者		
・那覇空港	2,475	人	(県内2,212人、県外263人)	100	人	(県内83人、県外17人)
・宮古空港	835	人	(県内795人、県外40人)	84	人	(県内83人、県外1人)
・下地島空港	148	人	(県内139人、県外9人)	15	人	(県内15人、県外0人)
・新石垣空港	419	人	(県内390人、県外29人)	13	人	(県内10人、県外3人)
・久米島空港	292	人	(県内284人、県外8人)	28	人	(県内28人、県外0人)

2 那覇空港抗原検査

令和4年8月15日(月)～令和4年8月21日(日)

	今回(8/15～8/21)		対前週比		累計	
抗原検査受検者	586	人	-246	人	29,917	人
うち県内在住者(県内)	449	人	-147	人	19,634	人
うち県外在住者(県外)	137	人	-99	人	10,283	人
うち陽性者(抗原検査陽性)	10	人	-14	人	197	人
【抗原検査陽性者内訳】 県内5名、県外5名 うち迅速PCR検査陽性者 10 名(県内5名、県外5名)						
【同行者】 県内0名、県外1名 うち迅速PCR検査陽性者 0 名(県内0名、県外0名)						

3 TACO(那覇空港)の週間実績数

令和4年8月15日(月)～令和4年8月21日(日)

空港における体調不良者数	0	人
問診実施件数	0	件
検査実施数	0	件
電話対応件数	89	件
うち健康相談・問診実施数	67	件

4 RICCAの状況

	8/19時点		前回比8/12	
登録者数	154,599	人	+421	人
登録施設等(QRコード発行件数)	19,445	件	+14	件

「高齢者施設等における感染拡大阻止」に係る対応について

保健医療部ワクチン・検査推進課

1 概況（現状、課題）

- 現在、沖縄県では高齢者へ感染が拡大し、高齢者・障害者施設においても、8月7日時点で約1,600人が療養している状況にある。
- 県では、高齢者・障害者施設等の職員を対象に、2週に1回の定期PCR検査を実施しているが、7月23日から7月29日の陽性率は、高齢者施設で1.8%、障害者施設で1.2%と、これまでの累計の約0.3%に比べ、高い値を示している。
- 検査について、特に入所系施設の場合は、外部と行き来のある職員が感染を持ち込む可能性が高いことから、施設内感染拡大を防止するためには、定期検査の強化が重要である。
- 高齢者施設等へのワクチン接種については、市町村が地区医師会等と連携し、巡回接種を行っている。市町村において、医療従事者の手配ができないなどにより、接種できない施設があれば、県が支援等を行う。

2 目標（二週間後目途）

【検査】

- PCR検査の間隔を補うため、定期PCR検査に参加する高齢者施設 1,770施設、障害者施設 1,108施設へ、週2回、4週分の抗原定性検査キットを配布する。
- 定期PCR検査に不参加の高齢者施設（約1,600施設）、障害者施設（約1,400施設）に対し、抗原定性検査による頻回検査を実施するため、週2回分の抗原定性検査キットを配布する。

【ワクチン】

- 巡回接種を希望するが、市町村において接種できない高齢者施設等を把握し、支援等を行う。

3 取組計画（1週目、2週目）

【検査】

○定期PCR検査参加施設への抗原定性検査キット配布

（1週目）

1. 各市町村に対して、施設への抗原定性検査キット配布への協力を依頼する（PCR検査では協力をいただいている）。
2. 対応可能な市町村に対して、抗原定性検査キットを発送する。
3. 対応不可能な市町村に対しては、施設へ発送を行う。
4. 施設に対して配布キットの使用目的、使用方法、陽性時対応（県陽性者登録センターへの申請方法等）の周知を行う。

○定期PCR検査不参加施設への抗原定性検査キット配布

（1週目）

1. 高齢者福祉介護課及び障害福祉課と連携し、不参加施設に対して、定期検査への参加呼びかけを行う。
2. 県電子申請システムにより参加を受け付ける。

（2週目）

1. 参加申請のあった施設に対し、市町村役場での直接受け取りあるいは施設への発送により、キットを配布する。
2. 回答のない施設に対し、電話等により直接、定期PCR検査等への参加を呼びかける。

【ワクチン】

○施設職員と利用者へのワクチン接種の推進

（1週目）

市町村が県に支援を求めている高齢者施設数の確認、及び、当該施設に対する支援方法の調整（関係団体とのスキーム調整）を行う。

（2週目以降）

1週目の調整を踏まえ、たとえば、医療従事者確保の支援や、県接種チームによる施設へのワクチン接種の支援を行う。

4 取組実績

【検査】

○定期PCR検査参加施設への抗原定性検査キット配布

（2週目）

【資料 9-1】

1. 令和4年8月15日時点で定期PCR検査に参加している高齢者施設 1,781施設、障害者施設 1,110施設のうち、それぞれ1,356施設、880施設にキットを配布した。
2. 残りの施設についても、発送準備中。

○定期PCR検査不参加施設への抗原定性検査キット配布

(1週目)

1. 高齢者福祉介護課及び障害福祉課と連携し、令和4年8月12日付け文書発出等により、定期PCR検査への参加と共に、緊急的対応としての抗原定性検査キットによる定期検査への参加を呼びかけた。

(2週目)

1. 高齢者施設 301施設へ電話等で直接、また、沖縄本島内及び宮古島市、石垣市を中心とした 28市町村が、管内の施設に対しメール、FAX及び電話等で定期PCR検査等への参加呼びかけを行ったところ、令和4年8月26日時点で、PCR検査による定期検査には高齢者施設 23施設から、抗原定性検査による定期検査には高齢者施設 153施設、障害者施設 92施設から、参加申込みがあった。
2. 抗原定性検査キットについては、8月26日より順次発送を開始。

【ワクチン】

○施設職員と利用者へのワクチン接種の推進

(1週目)

市町村が支援を求めている高齢者施設等を確認。

県は、県接種チームが出向き、当該施設へワクチン接種を行うスキームを構築。

支援を求めている高齢者施設等の数（13施設）

名護市	3施設
糸満市	4施設
豊見城市	1施設
うるま市	1施設
浦添市	4施設

※ 上記施設の要望の内容と接種予定人数を確認中（市町村で対応できない施設は、県接種チームが出向き接種等を実施する予定。）

(2週目以降)

支援を求めている高齢者施設等への支援状況（13施設）

【資料 9-1】

名護市 2 施設（対応済）、1 施設（調整中）

→対応済みの2施設については、県が北部地区医師会との間で医療従事者確保及び接種日時の調整を実施（名護市で対応可となった。）

糸満市 4 施設（調整中）

豊見城市 1 施設（調整中）

うるま市 1 施設（調整中）

浦添市 4 施設（調整中）

「イベント開催に係る感染対策の徹底（案）」について

令和4年8月29日

保健医療部感染症総務課

1 概況（現状、課題）

- 沖縄県では8月3日に過去最多となる新規陽性者数（6,180人）が確認されるなど、感染拡大の勢いは衰えておらず、引き続き、医療のひっ迫が続いている。
- 一方、県内では、夏場にイベントを予定しているケースも多く、さらなる感染拡大が懸念されるため、7月22日付け沖縄県対処方針において「参加者1,000人以上」が見込まれるイベントは、感染防止安全計画の対象とし、また、アルコール提供を伴うイベントについては、開催時期の延期を検討頂くよう主催者側に慎重な判断を求めると変更した。
- しかし、感染防止安全計画を提出したイベントでも、不特定多数の参加者が見込まれ、アルコール持ち込みが予想されるイベントでは、イベント実施により、さらなる感染拡大につながる恐れがある。

【懸念されるイベント】

- 街中及び会場内で不特定多数の参加者（1日1,000名以上）が見込まれ、会場内へアルコール持ち込みが予想されるイベント
（例：夏まつり、文化芸能・スポーツイベント等）

2 新たな対策・目標（二週間後目途）

【新たな対策】

- 感染拡大が続いている現状を踏まえ、当面（8月末）までの期間、感染防止安全計画が提出されたイベントの中でも、特に、感染リスクが高いと予想されるイベントについては、イベント当日、見回り確認を行い、主催者による感染対策が適切に実施されているかどうか確認を行う。
- また、会場内にアルコールを持ち込ませないよう、主催者側に協力を求める。
- 感染防止安全計画の各チェック項目を満たさないイベントは、主催者側にイベント自粛を求める。

【目標】

- 感染リスクが高いと見込まれるイベントの見回り体制を構築する。

3 取組計画（1週目、2週目）

○感染リスクが高いと見込まれるイベントを抽出し、実施状況の把握に努める。

○該当するイベントは主催者側と調整を行い、イベント当日、見回り確認を行い、感染対策が適切に実施されているかどうか確認を行う。

【1週目（8/15週）】

- ・ 8月第2週（8/8～8/14）時点のイベント実施状況を把握する。

【2週目（8/22週）】

- ・ 8月第3週（8/15～8/21）時点のイベント実施状況を把握する。

【各部局対応】

・ 総括情報部から各部局に対して、8月末までのイベント開催に係る照会（イベント予定の有無、見回り確認等）を行ったが、9月に予定されているイベント開催についても照会を行った。

・ 各部局においては関係団体等へ照会を行い、8月期間中、感染リスクの高いイベント情報の把握に努め、当該イベント実施の際には、見回り確認を行う。

・ また、新規感染者数は高止まりし、医療ひっ迫が続いていることから、9月も引き続き、感染リスクの高いイベントについては、市町村職員と協力して会場での見回りをお願いしたい。

・ 見回りに係る警察との調整については、イベントの詳細を把握する主催者側が責任を持って対応頂くよう、主催者側と調整をお願いしたい。

4 取組実績（8月期間中）

【見回り確認実施済みイベント】

① 8月7日（日）：「夏祭りin 那覇 第28回 1万人のエイサー踊り隊」

（文化観光スポーツ部、商工労働部動員対応）

② 8月20日（土）：「FC琉球ホーム戦（VSモンテディオ山形）」

（文化観光スポーツ部動員対応）

③ 8月27日（土）28日（日）「第17回うるま市エイサーまつり」

（文化観光スポーツ部、企画部動員対応）

④ 8月27日（土）28日（日）「宜野湾市青年エイサーまつり」

（文化観光スポーツ部、企画部動員対応）

⑤ 8月28日（日）「第41回エイサーフェスティバル IN 北谷」
（文化観光スポーツ部、企画部動員対応）

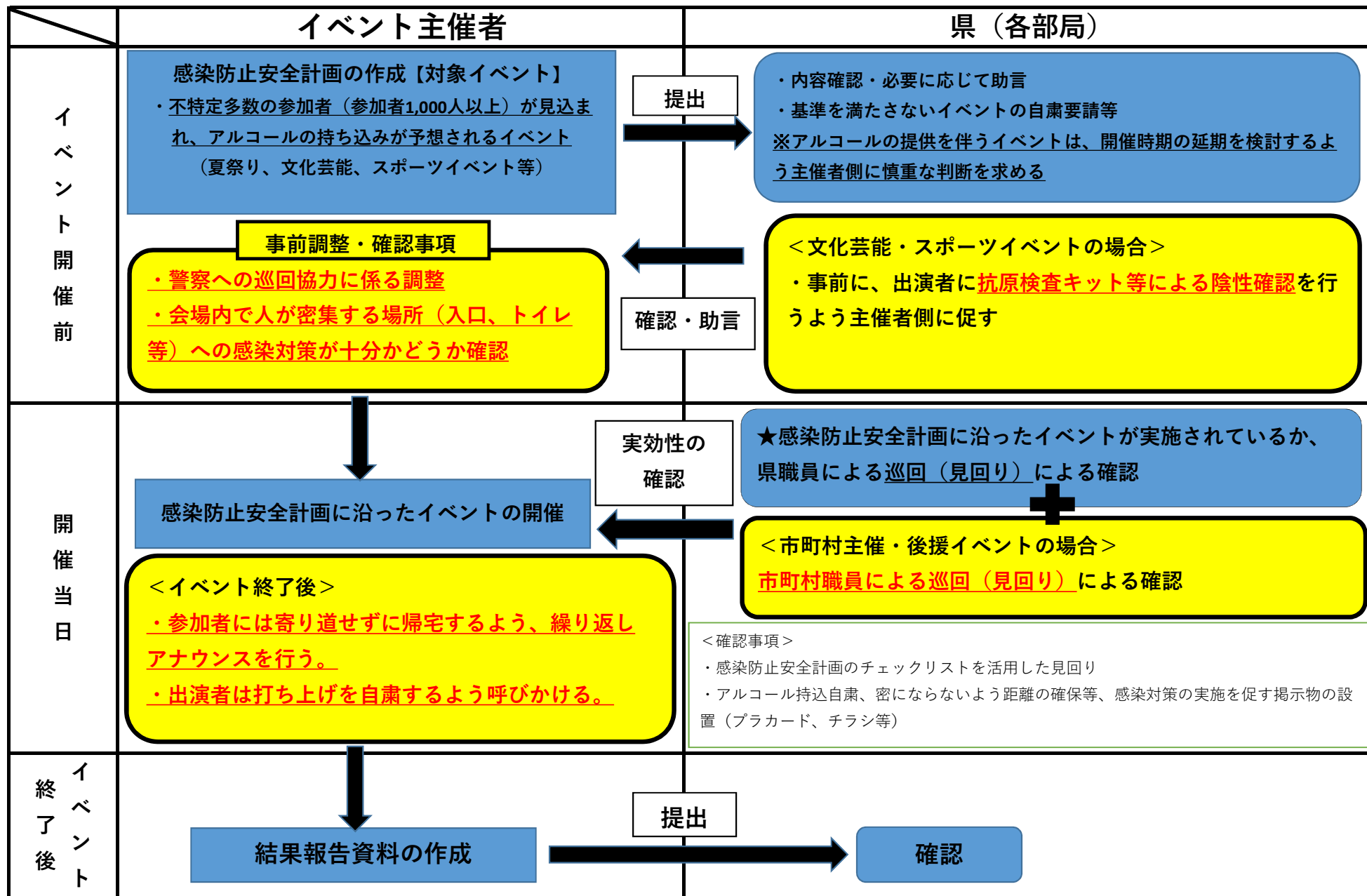
【市町村との連携】

○アルコールの持ち込みが予想されるイベントでは、県職員のみならず、市町村職員にも見回りに協力をお願いする文書を発送し、今後のイベントにおける県・市町村職員による見回り体制を構築した。

5 参考資料（別添）

- 別添「フロー図」
- 各市町村送付文書「イベント実施にかかる感染症対策について」
- 「イベントにおける感染対策の一部見直しについて」
- イベント実施状況調べ（8月、9月）

イベント開催に係る感染対策の徹底（案）



保感第217号
令和4年8月18日

各市町村総務担当課長
各市町村新型コロナウイルス感染症対策担当課長 } 殿

沖縄県保健医療部感染症総務課長
(公 印 省 略)

イベント実施にかかる感染症対策について (依頼)

平素より新型コロナウイルス感染症対策に御協力いただき感謝申し上げます。

沖縄県では、7月21日に「沖縄県医療非常事態宣言」を発出し、県民に対し感染症対策等への協力の呼びかけを行っているところです。

また、8月11日より適用されております「沖縄県対処方針」においては、アルコールの提供を伴うイベントは開催時期の延期を検討頂くようお願いしているほか、市町村においては、地元市町村で行われるイベントで、県の基準を満たさないものは、主催者に対して対処方針の要請に沿って見直しや自粛を促すこととしております。

各市町村におかれましては、当該対処方針の趣旨をご理解頂き、アルコールの提供など県の基準を満たさないイベント主催者に対して、見直しや自粛を促すとともに、アルコールの持ち込みが予想されるイベントでは、職員等による巡回確認にご協力頂くなど、感染対策に万全を期するようお願いいたします。

【参考】令和4年8月11日適用 沖縄県対処方針

＜イベントの開催について＞ P 6

- ・感染状況が悪化していることに鑑み、アルコールの提供を伴うイベントについては開催時期の延期を検討くださるようお願いいたします。

＜各市町村における県と連携した取組の実施＞ P 8

- ・地元市町村で行われるイベントについて、県の基準を満たさないものは、対処方針の要請に沿って見直すか自粛を促すこと。

(問い合わせ先)

沖縄県保健医療部感染症総務課 山城
TEL 098-866-2014

保感第234号
令和4年8月26日

各市町村長 殿

沖縄県新型コロナウイルス対策本部
本部長 玉城 康裕
(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う行事等への注意喚起について

沖縄県では、新型コロナウイルス感染拡大による医療のひっ迫が続いており、7月21日に「沖縄県医療非常事態宣言」を発出したほか、「B A. 5対策強化地域指定に伴う沖縄県対処方針」において感染力の高い変異株対策として、イベントの感染対策を含む取組を強化するなど、県民や事業者に対し感染症対策等への協力の呼びかけを行っているところです。

一方でこの先、季節の行事や、スポーツイベントの開催、各種選挙等が予定されており、人と人との接触機会の増加が懸念されます。

過去のイベントにおいて、関連する複数の感染を沖縄本島及び離島で確認しており、感染拡大防止には警戒感をもった対応が必要であることから、沖縄県対処方針にある下記の事項について貴管下職員及び関係団体等への周知啓発をお願いいたします。

記

- 1 大人数でマスクを外し三密となるイベントは控える、又は検査で陰性を確認すること。
- 2 主催者はアルコールの提供を伴うイベントについては、開催時期の延期を検討すること。また、参加者はイベントにアルコールを持ち込まないこと。
- 3 会食は4人以下・2時間以内、できるだけ同居家族やいつも一緒にいる方と行い、会話の際はマスクを着用すること。
- 4 基本的な感染防止対策である、換気、マスク着用、手指消毒、「密集・密接・密閉」を回避する、体調不良時は参加しないことを徹底すること。

問い合わせ先 新型コロナウイルス感染症等対策 本部総括情報部感染症総務課 TEL 098-866-2014 FAX 098-861-2888

保感第234号
令和4年8月26日

知事公室長
各部局長
教育委員会教育長
企業局長
警察本部長

} 殿

沖縄県新型コロナウイルス対策本部
本部長 玉城 康裕
(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う行事等への注意喚起について

沖縄県では、新型コロナウイルス感染拡大による医療のひっ迫が続いており、7月21日に「沖縄県医療非常事態宣言」を発出したほか、「B.A. 5対策強化地域指定に伴う沖縄県対処方針」において感染力の高い変異株対策として、イベントの感染対策を含む取組を強化するなど、県民や事業者に対し感染症対策等への協力の呼びかけを行っているところです。

一方でこの先、季節の行事や、スポーツイベントの開催、各種選挙等が予定されており、人と人との接触機会の増加が懸念されます。

過去のイベントにおいて、関連する複数の感染を沖縄本島及び離島で確認しており、感染拡大防止には警戒感をもった対応が必要であることから、沖縄県対処方針にある下記の事項について貴管下職員及び関係団体等への周知啓発をお願いいたします。

記

- 1 大人数でマスクを外し三密となるイベントは控える、又は検査で陰性を確認すること。
- 2 主催者はアルコールの提供を伴うイベントについては、開催時期の延期を検討すること。また、参加者はイベントにアルコールを持ち込まないこと。
- 3 会食は4人以下・2時間以内、できるだけ同居家族やいつも一緒にいる方と行い、会話の際はマスクを着用すること。
- 4 基本的な感染防止対策である、換気、マスク着用、手指消毒、「密集・密接・密閉」を回避する、体調不良時は参加しないことを徹底すること。

【過去のイベントにおける感染実例】

- 1 集会の準備時にマスク未着用及び換気の悪い場所での作業によりスタッフに感染が拡がった。
- 2 不特定多数の方が集まり、マスク未着用の参加者、手指消毒設備の未設置による感染が拡がった。
- 3 イベント終了後の打上時に、大人数・長時間・普段あわない方々での飲食が行われ参加者に感染が拡がった。
- 4 イベント参加時の友人同士での車内での移動において、車内を閉めきっており換気が取られていない事により感染した。
- 5 参加者に、体調不良者がいたが折角の機会だからと、無理して参加したことにより周囲の方に感染が拡がった。

○基本的な感染防止対策を、繰り返し実施することにより避けることができる例が殆どとなります。

令和4年8月29日（月）
文化観光スポーツ部

県外からの来訪者への呼びかけ強化に係る対応について

1 概況（現状、課題）

観光客に対する呼びかけに関しては、県HPからの情報発信に加え、OCVBと連携し、当団体が運営する公式観光情報メディア「おきなわ物語」を活用し、「新型コロナウイルス感染症感染防止対策サイト」を起ち上げ情報発信を行ってきた。

今回、「沖縄県医療非常事態宣言」の発出（7/22～8/14）に併せて、来県（予定）者に対して、「8月に沖縄県へ来訪される（検討している）皆様へお願い」として、次の呼びかけを実施。

- (1) 旅行前の健康管理と感染防止対策の徹底
- (2) 旅行前の体調不良時における旅行の延期や中止
- (3) 感染に備えて処方薬の多めの持参
- (4) 旅行前2週前のワクチン接種の最新状態化・来県前のPCR検査の実施
- (5) 医療非常事態宣言発令中であることへの理解を求める など

なお、上記内容については、SNS（Facebook、Twitter等）を活用した発信も実施。

2 目標（二週間後目途） ※可能な限り定量的にお願いします

8/2～8/9 PV数 8,500pv → 8/2～8/24 PV数 20,000pv

3 取組計画

情報発信の強化として、次の取組を実施。

- (1) 沖縄県観光振興課 HP上での感染症対策の取組の充実
- (2) 「おきなわ物語」において、継続的に、現在の取組を発信するとともに、医療機関への負担軽減を目的に8月8日(月)から観光客に対する「熱中症の予防策」と「熱中症時の応急措置」等についての紹介記事を配信することで、観光客の意識向上に繋げることにした。

4 取組実績

発信にあたっては、トップページに「重要なお知らせ」として固定掲載するなど「おきなわ物語」を訪れる観光客に対して、目につきやすい工夫を施した結果、8/2～8/9 PV数 8,500pv → 8/2～8/24 PV数 24,561pvとして目標を上回った。

【資料 9-3】

今後も引き続き、OCVBと連携し、県が取り組むコロナ関連対策を適切かつ速やかに発信するとともに、併せて医療機関の負担軽減を目的とした関連情報（熱中症対策、水難事故防止）なども積極的に発信することで、更なる観光客の意識向上に繋げていく。

「ワクチン接種の推進」に係る対応について

保健医療部

1 概況（現状、課題）

県では、8月末までを、「沖縄県ワクチン3・4回目接種推進期間」とし、4回目接種については、60才以上の対象者の80%以上、3回目接種については、59才以下の対象者の60%以上への接種を目標に、市町村と連携し接種の推進に取り組んでいる。

特に、3回目接種については、若者世代において、副反応が怖い、時間が合わない、副反応で学校や仕事を休めない、面倒であるなどの理由で接種が進んでおらず、ニーズに合わせた取組みが必要である。また、4回目接種については、努力義務が課されている60歳以上の方へ、重症化予防の観点から早急に接種を行う必要がある。

2 目標（二週間後目途） ※可能な限り定量的にお願いします

上記の課題より、

【3回目接種】

- ・ ワクチンに関する正しい情報の提供
- ・ 接種機会の増（時間・回数）

【4回目接種】

- ・ 60歳以上への接種機会（回数）の増を目標とする。

3 取組計画（1週目、2週目） ※表を貼り付けてもかまいません

市町村においては、集団接種会場における接種及び高齢者施設への巡回接種等を行い、県広域接種センターにおいては、予約なしの受付、ナイト接種等を実施し、大規模商業施設や大学等への出向接種については、これまで以上に回数を増やす。

広報については、あらゆる媒体を活用し、接種に前向きとなるような情報を提供する。

4 取組実績

市町村における、集団接種会場における接種及び高齢者施設への巡回接種等の実施。

県広域接種センターにおける、予約なしの受付、ナイト接種等の実施に加

え、大規模商業施設や大学等への出向接種回数の増（4月1回、5月1回、6月3回、7月3回、8月8回）。

さらに、定期的に市町村の接種率を確認するとともに、目標達成に向けた課題を把握するなど、市町村と連携し目標達成のために積極的に取り組んでいる。

広報等については、これまで、知事コメント、新聞、ラジオ、県・市町村HP等における、ワクチンに関する正しい情報等の掲載を行っていましたが、加えて、県コロナ対策パーソナルサポート（RICCA）における接種情報の案内及び政府動画等の掲載、接種会場近隣企業、団体（自治体、JA、商工会等）、及び学校等への接種呼びかけ、当該会場におけるデジタルサイネージ（業務用ディスプレイ）の活用を行うなど、接種に前向きとなるような呼びかけや啓蒙等を行っている。

【参考 1】

広域接種センターの出向接種実績等（2,194名接種）

- 4月30日 サンエー那覇メインプレイス臨時会場（499名接種）
- 5月14日 イオンモール沖縄ライカム臨時会場（285名接種）
- 6月4日 イーアス沖縄豊崎臨時会場（220名接種）
- 6月5日 イーアス沖縄豊崎臨時会場（127名接種）
- 6月18日 読谷村地域振興センター臨時会場（27名接種）
- 7月23日 イオン名護ショッピングセンター臨時会場（88名接種）
- 7月28日 沖縄県庁1階県民ホール臨時会場（200名接種）
- 7月29日 沖縄県庁1階県民ホール臨時会場（267名接種）
- 8月3日 名桜大学内臨時会場（40名接種）
- 8月4日 名桜大学内臨時会場（59名接種）
- 8月5日 沖縄国際大学内臨時会場（149名接種）
- 8月13日 イオン名護ショッピングセンター臨時会場（68名接種）
- 8月15日 沖縄大学内臨時会場（76名接種）
- 8月25日 沖縄県庁1階県民ホール臨時会場（89名接種）
- 8月26日 沖縄県庁1階県民ホール臨時会場（予定）
- 8月27日 イーアス沖縄豊崎臨時会場（予定）

※その後の接種についても、引き続き日程等調整中

【参考 2】

「沖縄県ワクチン 3・4 回目接種推進期間」の実施状況（8/24時点）

（3 回目接種）

59歳以下の対象者の接種率 54.4%（60%（8 月末目標））

10代の対象者の接種率 約36%

20代の対象者の接種率 約44%

30代の対象者の接種率 約52%

40代の対象者の接種率 約61%

50代の対象者の接種率 約73%

（4 回目接種）

60歳以上の対象者の接種率 55.9%（80%（8 月末目標））

※ 8 月22日時点における直近 3 ヶ月（6～8 月）の60歳以上の
4 回目未接種者の新規感染者数は、約 3 万 4 千人（ハース
スより）であり、当該事象が、接種率に一定の影響を与えて
いるものとする。

「BA.5対策強化地域」指定に伴う沖縄県対処方針

【要請期間】令和4年8月11日(木)～9月16日(金)

基本的な 考え方

BA.5の流行を抑え込み、県民の生活と命を守るため、新型インフルエンザ等対策特別措置法(以下「法」という。)第24条第9項により県民・事業者等に対して必要な協力を要請するとともに、働きかけを行う。

区 域

沖縄県全域

現 況

沖縄県では7月中旬以降病床使用率が高い水準で推移したことなどから、7月21日に沖縄県医療非常事態宣言を発出し、入院待機ステーションを拡充するなどしながら医療体制の維持に努めてまいりました。8月4日には、国に「BA. 5対策強化地域」と位置づけられ、感染防止対策を拡充し取り組んでまいりました。

しかし、人口10万人当たりの新規陽性者数は、8月28日時点で1,393人と未だ高い水準で流行が継続しており、また、高齢者施設等では、8月27日時点でコロナ患者が882人、そのうち31人が酸素投与を受けるなど、非常に厳しい状況が続いております。

コロナ治療を担う医療機関においては、一次救急外来の休止や、一般診療外来の一部制限を行うなど、訪れる患者全てに対応することが困難な状況が続いています。

流行を抑え込み医療のひっ迫を解消するため、「BA. 5対策強化地域」の指定を継続し、引き続き感染防止対策に徹底して取り組むことが重要です。

あなた自身やあなたの大切な人を守ることが医療と社会を守ることにつながります。全ての県民・事業者の皆様のご協力をお願いします。

BA.5対策強化地域指定に伴う取組の拡充

感染力の高い変異株対策として、以下の項目に重点的に取り組んでおります。

- ◆ **高齢者施設等における感染拡大阻止**（定期検査参加率の向上、施設職員と利用者へのワクチン接種の推進等）
- ◆ **イベントにおける感染対策の徹底**（アルコールを持ち込ませないよう当日の県職員・市町村職員等による見回り、基準を満たさないイベントの自粛要請等）
- ◆ **県外からの来訪者への呼びかけ強化**（体調不良時の旅行自粛、旅行開始前の検査の徹底、薬の持参等も含めた旅行中の健康管理の徹底）
- ◆ **ワクチン接種の推進**（接種主体である市町村への助言及び連携、県による出向き接種による接種率の向上）

県民の皆様へのお願い

① 日頃から、感染対策を心がけ、不要不急の外出はできるだけ控えましょう

- 外出・移動が必要な場合、「密集・密接・密閉」を回避するようお願いいたします。特に、高齢者は、同居家族以外の方と会うのを控えましょう。また、日頃から高齢者と接する方は、感染リスクの高い行動は控えてください。
- 換気、マスクの正しい着用、手指消毒、毎日の健康観察を習慣化しましょう(特に、高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦)。
- 感染に備え、家庭には、少なくとも3日分の食料と医療用の抗原検査キット、解熱剤等の医薬品を常備しましょう。
- 帰省や民泊、イベント参加など、旅先での感染リスクが高いときには、旅行開始の直前にPCR等検査で陰性を確認してください。

② 会食や友人との交流の際は、大人数、長時間の集まりを控え、屋内ではマスクを着用しましょう

- 子どもが集まる場面(学童、学習塾等)では、換気やマスクの正しい着用などの感染対策を大人がチェックすること。
- 会食は4人以下・2時間以内で行い、会話の際はマスクを着用しましょう。
- できるだけ同居家族やいつも一緒にいる方と会食を行ってください。
- 大人数でマスクを外すイベントは控える、又は検査で陰性を確認しましょう。
- 参加するイベントにアルコールを持ち込まないでください。
- 会食にあたっては「感染防止対策認証店」を利用し、感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えること。

③ 発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも症状がある場合、通勤、通学、外出、会食を控えてください

- 風邪症状を認めるときには、1週間程度は重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないように注意してください。
- 体調不良でコロナが疑われる場合、軽症であれば医療用の抗原検査キットを活用するか、県のコールセンターに相談してください。
- 救急医療を守るため、軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えるとともに、救急車の適正利用をお願いします。

④ 60歳以上の方等は4回目のワクチン接種をお願いします(3回目未接種の方も、速やかに接種願います)

- ワクチン接種を最新の状態にすることで、入院や死亡のリスクが低下します。
- 高齢者施設等の入居者やデイサービスの利用者は、集団感染のリスクが高いため、できるだけ接種を進めてください。
- 高血圧等の基礎疾患を有する方、肥満、喫煙する方など重症化リスクのある方も、ワクチン接種による重症化予防が期待できます。3

来訪者(沖縄への来訪を検討している)の皆様へ

【来訪前:法によらない協力依頼】
【来訪後:法24条第9項 協力要請】

- 来県前には、十分な健康観察を徹底した上でお越してください。体調不良の際には来県を延期いただき、改めての来県をお待ちしております。また、来県前・来県時においては、基本的な感染対策の徹底をよろしくお願いいたします。
- 修学旅行で来県される方々は、感染防止対策を徹底した上で、別途「沖縄修学旅行防疫観光ガイドライン」等に基づいた行動をお願いします。
- その他、旅行等で、来県する前には、旅行開始の2週間前までにワクチン接種を最新の状態にするかPCR等検査で陰性を事前に確認ください。特に県民と交流が予定される「出張」「帰省」「イベント参加」の場合、事前にPCR等検査の受検をお願いします。(※来県される前に、渡航者が居住する都道府県で行う無料検査についてもご利用ください。)
- やむを得ず来県前に検査が受けられない方のために、那覇空港、宮古空港、下地島空港、新石垣空港、久米島空港で到着時にPCR等検査を受検できる体制を整備しております。
- 沖縄県滞在中は、「感染防止対策認証店」のご利用をはじめ、この対処方針で県民に求められている行動を行うようお願いいたします。
- 沖縄県内の医療機関はひっ迫し、受診が困難となっているため、旅行中無理をせず体調管理を心がけましょう。また、持病のある方は、ご自身が日頃処方されている薬を把握し、来県する際には、持病の薬を多めに持参してください。
- 沖縄滞在中に体調不調や発熱があった場合は、旅行者専用相談センター沖縄にご相談ください。
【旅行者専用相談センター沖縄(「TACO」:Traveler's Access Center Okinawa)】
電話番号:098-840-1677 運営時間:8:00~21:00(年中無休)

飲食店等の皆様へ

【○:法24条第9項 協力要請】
【●:法によらない協力依頼】

対象施設	<p>[飲食店]飲食店(宅配・テイクアウトを除く) [遊興施設・結婚式場等]バー、カラオケボックス、結婚式場等で食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗</p>
要請内容	<p>○全ての飲食店等について、同一グループ・同一テーブル4人以内とすること(ただし、介護・介助が必要な場合を除く)。 (※結婚式等冠婚葬祭のイベント開催については、イベントの開催についての要請に沿った対応をお願いします。)</p> <p>●全ての飲食店等について、利用時間を2時間以内とするよう呼びかけてください。</p> <p>○沖縄県感染防止対策認証店については、引き続き、業種別ガイドラインの遵守など、感染防止対策を徹底し、「安全・安心な店」づくりをお願いします。</p> <p>①店舗内の衛生管理:店内の十分な換気を行うことや、お客様が触れる場所・器具の消毒 ②従業員等の安全衛生管理:従業員の就業前の日々の検温等体調管理の徹底、ワクチン接種推奨 ③お客様の安全:入店時の検温、手指消毒の徹底、余裕をもった配席など</p> <p>(軽度であっても発熱その他の症状のある方の入店のお断りや、お客様への感染防止対策の協力の周知) 等</p> <p>○沖縄県感染防止対策認証店以外の店舗については、感染防止対策を徹底し、早期に「沖縄県感染防止対策認証制度(第三者認証)」を取得することを推奨します。</p>

- ◆ 感染状況が**高止まり**していることに鑑み、1,000人以上が参加するイベントについては、感染防止安全計画の作成及び県への届出を求めますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ◆ イベント主催者等に対して、規模要件等(人数上限・収容率等)に沿った開催を要請

	施設の収容定員(※1)		
	5,000人以下	5,000人超～10,000人以下	10,000人超
大声なし	収容定員まで可	5,000人まで可(※3)	収容定員の半分まで可(※3)
大声あり(※2)	収容定員の半分まで可		

※1:収容定員が設定されていない場合は以下のとおりとする。

- ・大声なし → 密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を空けることとする。
- ・大声あり → 十分な人と人との間隔(できるだけ2m、最低1m)を空けることとする。

※2:「大声」は、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨するまたは必要な対策を十分に施さない催物を「大声あり」に該当するものとする。

※3:感染防止安全計画の作成・実施を条件に人数上限は収容定員まで可能となる。

- 主催者は、業種別ガイドラインの遵守を徹底するとともに、国の接触確認アプリ(COCOA)・沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート(RICCA)の導入又は名簿作成などの追跡対策を徹底すること。
- 参加者が1,000人以上のイベントについては、主催者がイベント開催の2週間前までを目途に具体的な対策内容を記載した「感染防止安全計画」を作成し、県へ提出すること。県が求める要請を満たさない場合は、要請に沿って見直すかイベントを自粛すること。
- 全国的な感染拡大やイベントでのクラスターが発生し、国が業種別ガイドラインの見直しや収容率要件、人数上限の見直し等を行った場合には、迅速に対応すること。
- 多くの人が集まるイベントについては、来場者に対し、ワクチン接種を最新の状態にするか又は事前のPCR等検査での陰性確認を勧奨すること。
- 飲食を提供する場合は、飲食専用エリア以外においては自粛を求めること。ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 感染状況が**高止まり**していることに鑑み、アルコールの提供を伴うイベントについては、開催時期の延期を検討くださるようお願いいたします。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントについては、チェックリストの作成等を通して感染対策を徹底すること。
(詳細は「イベントの開催制限について(<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/20200828.html>)」を確認)

- ◆ イベントに参加する方々は、基本的な感染対策の徹底と直行直帰等感染リスクの低減を図る取組をお願いします。

商業施設、集客施設の皆様へ

【法24条第9項 協力要請】

特措法施行令第11条第1項に規定する運動施設、遊技場、映画館、ショッピングセンター等の施設に以下の感染対策を実施すること。

- 業種別ガイドラインの遵守等、感染防止対策の徹底
- 入場者が密集しないよう整理・誘導（特に集客イベントを実施する場合は、密集・密接しないように取り組むこと）
- 入場者へマスクの着用徹底等の呼びかけ
- 会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（特にフードコートについて、アクリル板等の設置又は座席の間隔の確保、換気の徹底などの措置）

事業者の皆様へ

【法24条第9項 協力要請】

- 従業員の体調管理を徹底し、体調の悪い方は、出勤しない・させないこと。
- 従業員が陽性者や濃厚接触者となった場合等において、当該従業員を出勤させる際にPCR等検査の陰性証明を求めないこと。
- 在宅勤務（テレワーク）、テレビ会議、時差通勤の拡大など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をすること。
- 業種別に定める新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインを遵守すること。
- 職場でワクチン接種を勧奨すること（接種しやすい環境の整備をお願いします。）。
- 子どもの自宅療養や小学校等の臨時休業に対応するため、従業員が看護や世話をしやすい環境を整備すること（小学校休業等対応助成金等の活用による従業員の有給休暇制度の創設等をお願いします。）。
- 換気扇の常時稼働や窓開けの追加など、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気等を行う。
- 高齢者施設及び障害者施設においては、施設利用者への感染を防ぐため、レクリエーション時のマスク着用、送迎時の窓開け、面会時の事前の検査やオンラインでの面会実施、通所施設での導線の分離など感染対策を徹底すること。
- 高齢者施設及び障害者施設においては、従業員向け定期検査を行い、利用者にワクチン接種を勧奨すること。

各市町村における県と連携した取組の実施

【法24条第9項 協力要請】

- 防災無線、広報車等を活用した地域住民への感染防止対策の周知啓発及び自治会等への協力の呼びかけ。
- 接種主体である市町村におかれましては、3回目及び4回目接種の加速化を図ってください。
- ケアマネージャーをはじめ介護福祉関係者を通じて、要介護高齢者の接種状況の確認と接種の勧奨をお願いします。
- 地元市町村で行われるイベントについて、県の基準を満たさないものは、対処方針の要請に沿って見直すか自粛を促すこと。

学校等へのお願い

【法24条第9項 協力要請】

- 衛生管理マニュアル等を踏まえた対応を基本とし、換気扇の常時稼働や窓開けの追加など、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気やマスクの正しい着用等を行う。
- 特に感染リスクが高い教育活動(※)については、同マニュアル上のレベルにとらわれず、基本的には実施を控える。感染が拡大していない地域でも、慎重に実施を検討するといった対応を行う。
- 健康観察表や健康観察アプリなども活用しながら、教職員及び児童生徒等の健康観察を徹底し、体調不良時は出勤、登校及び部活動等を控えるよう周知すること。
- 気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を実施する。屋外では、周囲に人がいなければマスクを外すことを周知する。
- 部活動は、感染リスクが高い活動(※)を控えるなど感染防止対策を徹底し、平日2時間程度(早朝練習も含む)、土日休日3時間程度の活動とし、活動開始時・各種大会前には健康チェックを行うこと。
- **学校における活動(授業、部活等)や学習塾等が終わったら、寄り道せずに帰宅させる。**
- 小中学生・高校生の有症状者及びその濃厚接触者となりうる同居家族が、自宅で抗原定性検査が実施できる「RADECO」の活用を促進すること。
- 教職員や児童生徒等が陽性者や濃厚接触者となった場合等において、当該教職員等を出勤、登校させる際にPCR等検査の陰性証明を求めないこと。

※ 例：音楽における室内近距離で行う合唱やリコーダー等の管楽器の演奏、体育における密集する運動等
(オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策について【第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会】より)

夏休み明けに感染から子どもを守るための対策・呼びかけ（7つの場面）

- 沖縄県では、**過去最多の新規陽性者数**が記録されるなど流行が継続しており、夏休みを終えて、学校が再開することで、子どもの集まる場面における感染が懸念される。
- 子どもを感染から守ることが、**子どもから重症化リスクの高い高齢者への感染を防ぐことにも繋がる。**
- 改めて感染対策を確認いただき、感染を抑え込めることができるよう、**子ども、保護者、関係者が協力して対策を実施**していただきたい。

①登校時

- 登校前に**健康状態をチェック**し、有症状時には登校を控える。



②教室・屋内では

- 自宅以外の屋内では**マスクを着用**する。
- **風通しの悪いところでは長時間の会話を避ける。**



③屋外では

- 夏場においては、**熱中症対策を優先**する。**屋外で周囲に人がいなければ、マスクを外す。**



④体育・部活では

- **体育・運動部活動**の際は、**マスクを外す。**
- 着替える際は**順番を決める**など更衣室等で**密にならない。**
- 部室や移動中の車両などでは**こまめに換気し、マスクを着用**する。



⑤学童・塾では

- **換気を徹底**する。
- **マスク着用、黙食など学校の教室に準じた対策**を実施する。



⑥下校・帰宅時

- 学校や部活、塾が終わったら**まっすぐ帰宅し、多人数での飲食はしない。**



⑦自宅では

- **友達と家では集まらない。**
- 同居家族も**感染リスクの高い行動はしない。**
- 療養に備えて**市販薬、スポーツ飲料等の準備**をする。
- **発症時には、「RADECO」を活用**する。



直ちに実施する発熱外来や保健所における更なる負担軽減策

現在、多くの地域で、なお高い感染状況が続いていることを踏まえ、足元の感染状況に対応し、高齢者等重症化リスクの高い者への対応に集中できるよう、保健医療提供体制の確保に引き続き取り組むことに加えて、緊急避難的に医療機関や保健所等に対する更なる負担軽減策を実施する。

1. 保健所や発熱外来のひっ迫緩和策 ※(1)については別紙参照。

- (1) **発熱外来や保健所業務が極めて切迫した地域において、当面の緊急的な対応として、都道府県知事の申し出により、発熱届の範囲を①65歳以上、②入院を要する者、③重症化リスクがあり治療薬投与等が必要な者、④妊娠している者に限定すること**を可能とする。(ただし、感染動向を追えなくなるといふ陽性者数の総数の把握は簡便な形で継続する)

※これまでと同様、届出対象外の者についても、外出自粛を求める。

- (2) 65歳以上の者等以外の**発熱届 (HER-SYS) の入力項目を大幅に削減しているが、一部の都道府県等においては引き続き、独自の項目の入力を求めているため、特段の事情がない限り、速やかに削減するよう検討を求め**る。
- (3) 医療機関等の負担軽減を図りつつ、引き続き、**発熱外来の拡充**に取り組む。具体的には、各都道府県の発熱外来となつてきている医療機関の全医療機関に対する比率や公表率は地域差が大さいことから、**比率が低くかつ発熱外来が逼迫している都道府県を中心に、オンライン診療の活用を含めた拡充を要請**する。
- (4) 感染者の入院時に必要となる**入院勧告に係る協議会の手続き**について、オミクロン株の特徴や今般の感染拡大の状況に鑑み、**医療がひっ迫した場合には、緊急的な対応として、審査の対象となる患者が入院に同意していること**(注)等を前提として、協議会の月1回の事後開催を基本とすることを周知する。
- (注) 対象患者から入院に対して意見があった際には、人権配慮の観点から、丁寧に意見を聴くことを求める
- (5) 入力事務の負担軽減・解消のため、**発熱外来で入力スタッフを確保**する場合や、自治体(保健所)において入力事務を**外部委託する場合には、感染症法上の負担金の対象**となることを改めて周知する。

2. 発熱外来自己検査体制の強化

- 発熱外来のひっ迫を回避するために、重症化リスクの低い64歳以下の方が、発熱外来を経ずに療養に繋がる**健康フォローアップセンター等の仕組み**について、**全ての都道府県において設置**されるよう取り組んでいく。
- また、国の承認を受けた抗原定性検査キットをインターネット等で入手できるようにする。(※8/24に1社の検査キットを承認、事業者の準備が整い次第、流通開始。) 1

新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定について（緊急避難措置）

- 現下の感染拡大への対応については、重症化リスクのある高齢者を守ることに重点を置いて、効果が高いと見込まれる感染対策に、国・地方が連携して機動的・重点的に取り組むこととしている。
- 現在の感染状況によって、感染症法に基づく医師の届出（発生届）に係る事務負担が増加し、適切な医療の提供等が難しくなっているとの声があることから、**発熱外来や保健所業務が極めて切迫した地域において、緊急避難措置として、発生届を重症化リスクのある方に限定することを可能とする。**
（ただし、感染動向を追えなくならないよう、陽性者数の総数の把握は簡便な形で継続する）
- 具体的には、**都道府県から厚生労働大臣に届出があった場合には、感染者数の総数と年代別の総数を毎日公表していただくことを前提に、当該都道府県の新型コロナウイルス感染症の届出の対象を限定する。**
 ⇒ 改正省令・告示を速やかに公布し、厚生労働大臣に届け出た都道府県から順次、実施可能とする予定。

※届出の対象者は健康観察を実施。届出対象とならない方は、健康フォローアップセンター等に連絡・相談が可能。

※全国ベースでの全数届出の見直しについても、感染状況の推移等を見極めた上で検討。

都道府県知事

以下のいずれにも該当する場合、厚生労働大臣に対し、その旨を届け出ることができる。

※あらかじめ、保健所設置市等の長の意見を聴いた上で届出。

- ①届出に関する事務を医師及び自治体が処理することとした場合に患者が良質かつ適切な医療を受けられることが困難になるおそれがあると認める場合
- ②当該都道府県知事が、新型コロナウイルス感染症の患者を診断した医師の報告に基づき、日ごとの当該患者の総数及び日ごとの当該患者の年代別の総数を毎日公表する場合

厚生労働大臣

都道府県知事から届出を受けたときは、当該都道府県の名称を告示する。

厚生労働大臣が告示した都道府県では、当分の間、感染症法第12条に基づく発生届の対象を限定する。

- ①65歳以上の方
- ②入院を要する方
- ③重症化リスクがあり、コロナ治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と医師が判断する方
- ④妊婦の方

発生届の重点化

発生届の対象者重点化により生じうる課題について

検査体制

- 簡易な聞き取りのみで発生届を出している検査所もあるが、抗ウイルス薬の要否や宿泊療養の希望など、より詳細に聞き取って届出対象者であるかを確認するよう求める必要がある。
- 届出対象外の者については、My HER-SYSによる療養証明書の発行が受けられなくなる。こうした感染者が、証明書を求めて医療機関を受診することのないようにする必要がある。

健康観察

- 発生届が出されない感染者について、10日間の行動制限へと協力を求めることには限界がある。自宅療養の支援方法についても再調整が求められる。

受診調整

- HER-SYS管理を前提とし、受診方法（遠隔診療、対面診療、救急受診）や受診先を調整することで、一部の医療機関への集中を緩和してきた。
- 届出対象外の者にフォローアップ窓口を周知して、健康相談に応じるとともに、受診先の紹介等を行う必要がある。

施設支援

- 施設職員が感染しても届出対象外であれば、保健所は疫学調査を実施する根拠がなく、接触者に対する行政検査も行われなくなる可能性がある。
- 施設による自主的な初動対応を支援し、広範な検査が実施できるよう調整する仕組みが必要となる。

第17回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議発言要旨メモ

日時：令和4年8月27日(土)16時00分～18時00分

場所：沖縄県庁6階第2特別会議室

1 報告

(1) 県内の感染状況について（宮里統括監）

- 人口10万人あたりの新規陽性者数は、8/12は1,951人から、8/19は1,771人、8/26は1,530人となっている。
- 新規陽性者数は、昨日は3,015人で、本日は2,898人となっている。先週の同じ曜日から千人ほど減少しており、改善傾向が見られるものの高止まりする可能性もある。
- 入院中の療養者数も2週間前は700人を超えていたが、昨日は520人となっている。県全体での療養者数は、昨日は30,106人、本日29,600人で3万人を下回っている。
- 年代別新規陽性者数は、30～40代が最も多いものの、全体的に感染者数は減ってきており、前週比も全ての年代で1を下回っている。
- 病床使用率や重症者用病床使用率も減少傾向で、直近の病床使用率は65.4%、重症者病床使用率も県全体で50%を下回り、41.9%となっている。圏域別では、病床使用率で本島圏域74.6%、宮古圏域は20%台、八重山圏域は11%台となっている。

2 議題

(1) 発生届の限定（緊急避難措置）について（糸数部長）

- 今般、発生届に係る事務が医療機関及び保健所の負担となり、医療の提供に支障が生じるおそれがある場合は、県知事の届出により、発生届を①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者、または重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、④妊婦に限定することができるとしている。
- 全数届の義務付けの見直し、発生届の対象を以下に限定する内容となっている。
- 届出対象外となる方について、急な体調変化等に対応できるよう、健康フォローアップセンターを設置することが要件となっている。
- 健康フォローアップセンターの機能には、医師を配置し、発生届の対象とならない患者や医療機関を受診しない陽性者の急な体調変化等に対応できるよう、相談・支援を提供すること。また、医療機関を受診せず登録された者の登録者数を毎日年代別に集計し、設置自治体に報告するなどがあげられている。
- 届出の対象外となる者については、HER-SYSの登録が行われず、My HER-SYSや紙の療養証明書の発行は想定されない。
- 発生届の限定化で生じる課題について、検査体制においては届出対象外の者の療養証明書の発行が受けられないこと、受診調整においては届出対象外の者へのフォローアップ窓口が必要であること、健康観察においては行動制限を求めることに限界があること、

施設支援においては施設内感染の覚知が遅れる可能性があることなどが考えられる。

- 対象を絞る形になるが、届出の対象に入らない人でも、現在は自動架電等によりオートマチックに行っており、発生届の重点化をしても業務が劇的に改善することにはならないことや、新たな課題への対応が必要になるほか、感染拡大の抑制が弱まるのではないかと考える。

【委員の主な意見】

<保健所、医療機関の現状について>

- 那覇市保健所では、8月上旬はひっ迫していたが、8/9以降は電話対応の健康観察の対象を減らし、就業制限解除のショートメールを止めたり、また、My HER-SYSから那覇市のシステムへの入力をRPAで自動化するなど業務を改善した。初期対応の電話対応は最大4日の積み残しの状況もあったが、現在、ほぼ解消している。現状の感染者数であれば、9月以降も乗り切れると考えている。
- 県医師会で抗原検査センターと接触者PCR検査センターのHER-SYS登録を行っているが、最初のうちは積み残しも多かったが、工夫によりスムーズになったものの、クリニックの方では今でも負担が大きい。現場からは、HER-SYSを入力することで、県民にどんなメリットがあるのか、それがわかれば、やりがいもあるという声がある。

<発生届の限定化の課題について>

- 新規陽性者数の85%はMy HER-SYSの自動架電となっており、今回の限定化でこれらの人が対象外になる。これらの人の外出自粛や濃厚接触者の待機は法に基づき求めるだけで、個人の自主性に任せることになるので、感染抑制の点で疑問がある。
- 届出対象者には現状と同様の対応を続けつつ、届出対象外の陽性者が公費負担や体調不良時の受診、移送のサービスを受けるため、健康フォローアップセンターを立ち上げる必要があり、また、新しい体調不良時等の救急等のながれの新しいシステムをつくる必要がある。
- 厚労省の交付金は9月末の見通しままで、いつまでか不明という状況でどうやって新しいシステムをつくるのか。人員確保は困難。労多くして益少なし、これを行うのはきつい。今の沖縄の状況で実質メリットがあるのか。
- 負担を減らすために届出を減らすことは一部理解できるが、米軍や国内外からの人の移入が多い沖縄県の地域性や現状を考えると、全数把握は必要である。最初に感染するのは元気のある人たちであるため、対象を絞ると、その動向を見失うデメリットがある。
- 療養証明書の発行ができないことについて、保健所で説明が求められることが予想されるが、法的情報がない中、保健所でも発行は困難。届出対象外の方から、証明書発行について保健所に相談が殺到する。
- 発生届の情報をもとに、入院調整など本部、保健所に対応した部分があったが、その対象外の人が結果として、医療機関に押し寄せることも懸念される。

<年代別の全数の報告について>

- 年代別の全数の報告については毎日行う必要があり、届出対象外の人数の把握については、集約作業において現行システムからの転記が増え、間違いが生じる可能性がある。
- インフルの定点報告は1週間ごとだが、毎日年代別の報告をするような状況だと作業も相当ある。2つの作業をお願いしないといけない。

<施設支援について>

- 施設支援では早期の陽性者の把握、介入支援が重要で、遅れるとどうしようもない。重点化した場合、施設の職員はほぼ対象外となり、陽性になっても情報がないため施設支援の初動が遅れる可能性がある。
- 検査による陽性かどうかの把握が、施設職員が無理して働くことへの抑制につながっていたが、今後、早期解決のポイントが崩れることになる。
- 施設職員に対する定期的なスクリーニングは、無症状者の陽性をすくい上げ、負の連鎖が起こらないよう、いち早く察知できることになる。施設ごとに感染対策の濃淡があるため、できないところへのサポートのために定期的な検査も行っていくべきである。

<発生届の限定化への移行について>

- 子どもは対象外になっている。全数登録されてないと、急に受診に来た子どもが、実は後で陽性であったということが起こる。今すぐ発生届の限定化を進めるかは慎重に考えるべきである。
- 沖縄県は日本の最先端の流行となっていることからデータは貴重であり、疫学的視点から考えると全数把握は引き続き必要である。なお、いずれ、定点化にいくので、どの時点で切り替えいくのか考えておいた方がよい。
- 発生届を出さない患者に協力を求めることには限界がある。行動の自由により感染を減らす方向には行かず、むしろ拡がることになるため、感染者数が減少しているこの時期にやるのは疑問がある。
- 今回、第1回目の限定化に沖縄県が参加するのは時期尚早。

<届出の簡略化について>

- 届出の対象を絞ることについては課題が多いが、入力項目を重点化することで負担を減らすこともできるのではないか。
- 発生届の入力項目は取捨選択し、簡略化し、負担軽減すべき。